

郡 山 女 子 大 学
郡山女子大学短期大学部

平 成 25 年 度

研 究 業 績 及 び 社 会 活 動

平成25年4月 ～ 平成26年3月

研究紀要編集委員会

【研究業績】（著書・論文・発表）

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
石堂常世	『フランス公教育論と市民育成の原理－コンドルセ公教育論を起点として』（単著）	風間書房 513p.	フランス啓蒙思想とその公教育論を分析、次いで20世紀におけるライシテ（政教分離問題）論争へつなぎ、フランス公教育論の哲学を論じた学術書。
	子どもの問題行動防止と健全育成のあり方（学会シンポジウム総括）（論文）	日仏教育学会年報第19号	日仏教育学会創立30周年記念シンポジウムで、フランスからE.プレラ教授を招聘し、森田洋司日本生徒指導学会会長らとともに討議した総括文。
	問題ある学校、改善に向かう学校、明るい学校を決定づける要因－学校での規範づくりの方策（論文）	日仏教育学会年報第19号	上記シンポジウムにおいて、パネリストの研究報告として発表した内容のまとめ
	子どもにおける規範意識醸成の課題－今日的困難性の中の教育的可能性を求めて（論文）	教育哲学会研究第107号	2013年度教育哲学会大会での研究討議として掲げられた「規範と教育」の企画者・パネリストとして論じた、子どもの規範意識育成の課題追究
	学校・教育委員会を起点とした多機関連携の仕組みの分析・提言（宮古紀宏と共論文）	『子どもを犯罪から守るための多機関連携の現状と課題－北九州市・札幌市・横浜市の三政令市における機関連携をもとに』成文堂、376p. 第2章	2009年から科学技術振興機構JSTの研究助成を受けて共同研究をしてきた子どもを犯罪から守るための手立てと仕組みの調査研究の集大成
	子どもを犯罪から守るための多機関連携モデルの提唱（1）	刑政 2013年7月号	子どもを犯罪から守る機関連携の先例的仕組みに関して、学校・教育委員会を起点として調査研究した分析結果と提言
	近年におけるフランスの少年非行防止施策の指針と基調	早稲田大学社会安全政策研究所紀要第4号	日本でも、平成25年6月28日に、いじめ防止対策推進法が公布され、その方面の施策や指導体制が教育界でも顕著であるが、フランスでは法務省が中心となってさまざまなレポートを公表して、子どもの問題行動の防止をはかっているが、その指針と基調を明らかにした。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
武 井 玲 子	生活上のリスクに対する意識と対策行動に関する調査（共同研究）	（一社）日本家政学会第65回大会（2013年5月、於：昭和女子大学）研究発表要旨集、p.187	放射性物質汚染リスクに対する学生の意識と低減化行動に関する調査。
	ユニバーサルデザインのための色の象徴性の検討（2）－一般男女の生活行動における言語と色の象徴性－（共同研究）	（一社）日本家政学会第65回大会（2013年5月、於：昭和女子大学）研究発表要旨集、p.173	生活行動において使用する言語とイメージする色彩との関係を調査。結果、関係を強くとらえる傾向を認めた。
	東日本大震災を踏まえたリスク管理の考え方の提案	日本家庭科教育学会第56回大会（2013年6月30日、於：弘前大学）研究発表要旨集、p.94～95	家庭科教育内容への提言を目的に、東日本大震災に関するアンケート調査を本学卒業の家庭科教諭対象に実施。
	福島県内高等学校家庭科担当者対象「東日本大震災と生活」に関する調査報告書（共著）	郡山女子大学人間生活学科家庭科教育ワーキンググループ、平成25年10月発行	家庭科教育内容への提言として実施した東日本大震災と原発事故時の意識と生活変化に関する調査報告書。
	共著「キャリアデザイン」	郡山女子大学キャリア教育推進委員会（2014.3）	本学のキャリアデザインⅠ、第4～6、14～15回授業部分担当
小 阪 康 治	『新版 医療倫理Q & A』共著	太陽出版	自由が尊重されるための条件について
細 川 和 彦 山 形 敏 明 苫米地 司	雪害予報技術の開発に関する研究（その4）	日本建築学会大会（北海道）学術講演 梗概集	既報における雪害危険度の算出結果を効果的に情報発信するため、市民の雪かき行動および生活情報の取得などについて行ったアンケート調査結果である。その1では北海道札幌市の住民の調査結果を分析し、雪かき行動の特性ならびに情報配信の最適な時間帯と発信手段について明らかにした。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
山形 敏明 細川 和彦 苔米地 司	雪害予報技術の開発に関する研究（その5）	日本建築学会大会（北海道）学術講演 梗概集	同上。その2では福島県只見町の住民の調査結果を分析し、雪かき行動の特性ならびに情報配信の最適な時間帯と発信手段について明らかにした。
阿部 恵利子 北川 圭子 谷口 尚弘 山形 敏明	寺院建築に対する意識調査（その1）,- 2 地方の寺院に対する興味比較-	日本建築学会大会（北海道）学術講演 梗概集	仏教文化の成り立ちが異なる福島県と北海道において、建築を学ぶ学生が寺院建築に関してどのような意識を持っているかについて比較し、歴史的背景との関係について考察したものである。その1では寺院への興味及び寺院建築の変化に対する意識を明らかにした。
北川 圭子 阿部 恵利子 谷口 尚弘 山形 敏明	寺院建築に対する意識調査（その2）,- 2 地方の外観デザインイメージ比較-	日本建築学会大会（北海道）学術講演 梗概集	同上。その2では、外観デザインイメージの相違点及び共通点を明らかにした。
山形 敏明	郡山市史 続編4 通史編	郡山市（平成26年9月発刊予定）	第四章第三節「ボランティア活動と避難所」の東日本大震災における避難所に関する内容を執筆。
山本 裕詞	栄養教諭配置計画の比較研究 - 総合行政との関連で教育行政計画の妥当性を判断する観点-（口頭発表） 食育行政における栄養教諭配置計画の比較研究 - 総合行政の中で教育行政計画の適切性を判定する際の観点-（論文）	東北教育学会第71回大会（東北大学2014.3.8） （自由研究発表） 郡山女子大学研究紀要（第50集 2014.3）	本発表では、栄養教諭の配置計画を地方自治体の総合行政の傾向に関連付けることによって、その妥当性判断に向けて議論を深めた。 栄養教諭制度は子どもの健康に関する全国的な問題認識の下に導入されたが、その配置には地域格差が認められる。本稿では、配置率トップの自治体と配置率最下位の自治体を比較することによって、格差発生の構造を明らかにした。
藤本 健四郎	台湾産腐乳の諸成分ならびに細菌叢の特徴（共著）	淑徳大学看護栄養学部紀要 第6号（2014.3.31）	腐乳中の一般生菌数及び嫌気性細菌数（対数値/g）はそれぞれ、平均5.51及び3.61であった。遊離アミノ酸のパターンからは、グルタミン酸の著しく多いものとそうでないものに分けられた。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
	Dietary Sunflower Fiber Is Effective in Decreasing Body Weight (共著)	Annual Meeting of Am. Oil Chem. Soc., Palais des Congres de Montreal, Montreal, Quebec, Canada (2013.4.28-5.1)	ラットにヒマワリピスを投与すると、対照群に比較して、体重増加が抑制された。その原因としては、ヒマワリピスに含まれる食物繊維が油脂を強く吸着して、消化吸収を抑えることが示唆された。
	植物ステロールエステルを用いたデニッシュパンの調理特性 (共著)	日本家政学会東北・北海道支部第58回臨時支部総会・研究発表会 (尚綱学院大学、名取市、2013.9.14)	油脂含量の多いパンの例としてデニッシュを取り上げ、バターを植物ステロールで置換したときの調理特性を調べた。
	低酸素曝露に対するラットの生体応答 (共著)	日本ヘモレオロジー学会 (独協医大日光医療センター、2013.11.16)	ラットを低酸素曝露すると、ヘマトクリット値が上昇し、血液流動性の低下が見られ、多血症特有の症状が見られた。
広 井 勝	(著書) 菌類の事典	朝倉書店 (2013.11)	9章発光部分を担当、発光菌と発光機作、超微弱発光について解説。編集委員。(日本菌学会編)
	(論文) 福島県産野生きのこの放射性セシウム濃度の動向	日本菌学会東北支部会報第30号 (2014.3)	原発事故による放射線汚染(放射性セシウム濃度)について2013年の福島県産野生きのこの動向について考察を行った。
	福島県産野生きのこ、落ち葉の放射性セシウム濃度の動向	きのこ研だより、36号 (2014.2)	野生きのこ、落ち葉が福島原発事故の影響をどの程度受けているか、放射性セシウム濃度を2011年から2013年の3年間分析し比較検討した。
	きのこ類脂質の脂肪酸組成の特徴と調理・加工保存による変化ならびにきのこの放射性物質の蓄積について	日本調理科学会誌Vol.46 (2013.8)	きのこ脂質の脂肪酸組成の特徴、冷蔵保存による脂質成分の変化、水煮、塩蔵ならびに水煮缶詰の脂質成分の変化、きのこの放射性セシウム濃度の動向などについて論述した。(学会依頼総説)

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	きのこの「あぶら」からきのこの分類？	日本きのこ学会ニュースレター No.6 (2013.8)	きのこの脂肪酸組成の特徴と分類群の関連について解説した。(学会依頼原稿)
	野生きのこ落ち葉の放射性セシウム濃度の動向	いわきキノコ同好会会報第18号 (2013.5)	2011年と12年の野生きのこ落ち葉の放射性セシウム濃度を比較し解説した。
	チチタケというきのこ (口頭発表)	きのこ No.11 栃木県きのこ同好会 (2013.11)	栃木県でチタケと呼ばれているきのこは、DNA分析や脂肪酸組成の違いから、少なくとも5つの系統の異なるきのこが混在していること示した。
	福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向	日本菌学会第57回大会 (2013.6)	2011年と12年の野生きのこの放射性セシウム濃度を比較した。
	発光性きのこの培養菌糸体の発光	日本菌学会第57回大会 (2013.6)	10種の発光性きのこ菌糸体の発光量を比較した。菌株により発光性に違いが見られた。
	富士山におけるキノコの放射能汚染	日本放射線安全管理学会第12回学術大会 (2013.11)	富士山の山梨県側と静岡県側で採取したキノコについて放射性セシウム濃度を調べ、Cs134の存在比から福島原発の汚染寄与率を検討した。
諸 岡 信 久	相模原市内の土砂のセシウムレベル (ポスター発表、共同)	第22回環境化学討論会、第22回環境化学討論会発表要旨集 (2013)	震災前(2008年)と震災後(2012年)の相模原市内の土砂37試料のセシウム汚染レベルを測定し、比較した結果について発表した。
	母乳の放射線測定 (口頭発表、共同)	第42回福島県保健衛生学会講、第42回福島県保健衛生学会講演要旨集 (2013)	福島、山形、秋田、神奈川県から2012年と2013年に提供をうけた母乳の放射線量を測定し報告した。
	2013年 放射能測定データ 「野生動物、野鳥」 (誌上発表)	環境保護、福島県環境保護協会 (2013)	野生動物と野鳥の放射線量について調べ、臓器特異性などを報告した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
紺野 信弘	論文 女子大学生における5年間の体力の推移（共著）	郡山女子大学 研究紀要 第50集 （2014年3月）	本学の学生を対象に体力について5年間の年次変化を調べた。今回の調査対象項目では年度間において有意の変化は認められなかった。しかし上体起こし、長座体前屈および反復横跳びについては家政学部2年生と短期大学部1年生はそれらの平均値が全国平均値に比べ有意（ $p < 0.05$ ）に低かった。
Yukitoshi Takahashi, Tateki Fujiwara (査読あり、共著者13人中12番)	Immunomodulatory therapy versus surgery for Rasmussen syndrome in early childhood.	Brain Dev. 2013 ; 35 : 778-85.	ラスマッセン脳炎に対しては大脳半球切除術が標準的治療法であるが侵襲が大きい。内科的免疫療法の効果が外科治療と同等であることを実証した。
藤原 建樹 (単著)	てんかん 側頭葉てんかん 若年ミオクロニーてんかん	小児科 2013 ; 54 : 479-84. Modern Physician 33 : 711 ; 2013 Modern Physician 33 : 807 ; 2013	てんかん学会ガイドラインに基づき、小児てんかんにおける薬物治療終結の手順を解説した。 側頭葉てんかんを例にとり、部分てんかんに対する薬物治療のポイントを解説した。 若年ミオクロニーてんかんを例にとり、全般てんかんに対する薬物治療のポイントを解説した。
深谷 笑子	人間守護からみた東日本大震災体験記録	日本家政学会東北・北海道支部第58回大会（2013年9月14日、於：尚綱大学）	123名の学生の東日本大震災体験記録から、人間守護が具体的にどのようなあらわれているかを考察し発表した。
深谷 笑子 (家庭科教育ワーキンググループ)	東日本大震災に関する調査から家庭科教育への提案-家庭科「家庭・家族」の学習内容の検討-(共同研究)	日本家庭科教育学会第56回大会（2013年6月30日、於：弘前大学）研究発表要旨集、P.88-89)	家庭科教育内容への提言を目的に、東日本大震災に関するアンケート調査を本学卒業の家庭科教諭対象に実施。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	福島県内高等学校家庭科担当者対象「東日本大震災と生活」に関する調査報告書 (共同研究)	郡山女子大学人間生活学科 家庭科教育ワーキンググループ、平成25年10月発行	家庭科教育内容への提言として実施した、東日本大震災と原発事故時の意識と生活変化に関する調査報告書。
	郡山市史 続編4 通史編 第二編 社会 第6節市民活動	郡山市 (平成26年9月発刊予定)	郡山市の2002年から2011年までの10年間の市民活動について執筆した。
茂 木 光 代	学会発表 「介護職員による医療的ケア実践上の課題」	第44回日本看護学会 -看護総合- 学術集会 (2013年9月大分県別府国際コンベンションセンター)	介護職員に医療的行為が法的に認可されたことを受け、安全に実践するための課題を考察した。
	「郡山市史 続編4」通史編 第二章 第二節 保健・医療	郡山市	郡山市の2002年～2011年までの10年間の保健・医療に関するあゆみを現代史としてまとめた。
難 波 めぐみ	(学会発表) 東日本大震災を踏まえた防災袋づくりの提案－ 福島県家庭科教員対象調査を中心として－	日本家庭科教育学会第56回 大会(2013年6月30日、 於：弘前大学)研究発表要 旨集、P.86-95)	家庭科教育内容への提言を目的に、東日本大震災に関するアンケート調査を本学卒業の家庭科教諭対象に実施。
	福島県内高等学校家庭科担当者対象「東日本大震災と生活」に関する調査報告書 (共著)	郡山女子大学人間生活学科 家庭科教育ワーキンググループ、平成25年10月発行	家庭科教育内容への提言として実施した、東日本大震災と原発事故時の意識と生活変化に関する調査報告書。
	(論文) 公家装束の色について －国宝『源氏物語絵巻』の復元模写から－	郡山女子大学研究紀要第50 号 2014年	平安時代の宮廷装束を構成するうえで、色(色材)は非常に重要であった。その色材について考察した。
石 原 正 道	Description of a domain using a squeezed state in a scalar field theory	European Physical Journal C, Volume 73, Article : 2423 (2013)	拡張されたスクイーズ演算子を用いてドメインを記述する状態を構築し、様々な物理量を計算した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
熊 田 伸 子	郡山市史 続編4 通史編 第二章 第三節 高齢者支援	郡山市	平成14年度から平成23年までの10年間にわたる、郡山市の介護保険事業を中心とした高齢者支援を担当し、執筆した。
垣 花 真一郎	絵本における仮名文字の使用頻度と幼児の仮名文字習得の関係	日本発達心理学会第25回大会発表論文集, p159	ベストセラー絵本49冊の文字別の出現頻度と、幼児の文字別正答率間に $r=.60$ の有意な相関を検出した。
佐 藤 典 子	著書 福島県内高等学校家庭科担当者対象「東日本大震災と生活」に関する調査報告書 (共同研究)	郡山女子大学人間生活学科 家庭科教育ワーキンググループ 平成25年10月発行	家庭科教育内容への提言として実施した、東日本大震災と原発事故時の意識と生活変化に関する調査報告書。
	「キャリアデザイン」 (共著)	郡山女子大学キャリア教育推進委員会 平成26年3月発行	本学の「キャリアデザインⅠ」第6回、14回、15回授業担当
	学術論文 科学実験を活用した消費生活講座「くらしの中のアルコール」(2)	日本消費者教育学会誌 第32冊 (2013) 単著	「アルコール」をテーマに2つの視点で市民向け講座を試みた。本論文では、家庭用製品の安全な使用方法などについて取り上げた。
	大学専門科目と教科教育法の授業連携 ～家庭科の事例から～	郡山女子紀要第49集 共著	家庭科教員養成課程を履修した学生の「教員としての資質を向上させることを目的とし、「科学実験」を取り入れた教科教育法の授業を計画し実践した。
口頭発表 東日本大震災における被害の実態と児童・生徒の変容 (共同研究)	日本家庭科教育学会 第56回大会 (平成25年6月30日 於: 弘前大学)	家庭科教育内容への提言を目的に、東日本大震災に関するアンケート調査を本学卒業の家庭科教諭対象に実施した。	

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
	ESDとしての家庭科の現状と課題（共同研究）	日本家庭科教育学会 第56回大会（平成25年6月30日 於：弘前大学）	ESDとしての家庭科の構成概念や定義について先行研究の収集を行い、家庭科教育の可能性、独自性、役割、課題を中心に概念図を完成させたことについて中間報告を行った。
	女子大学生の柑橘類に関する意識調査（共同研究）	日本食生活学会 第48回大会（平成25年10月19日 於：岩手県民センター）	女子大学生を対象に柑橘類についてアンケート調査を実施した。みかんを幼少期から食べている者が多かったことから、今後の食育活動に活かしていきたいと考える。
橋爪 敏	共著『キャリアデザイン』	郡山女子大学キャリア教育推進委員会（2014.3）	本学のキャリアデザインⅠ、第2～3授業部分担当
菊池 節子	植物ステロールエステルを用いたデニッシュパンの調理特性 （共同研究）	日本家政学会東北・北海道支部 第58回研究発表会要旨集（平成25年9月14日、尚絅学院大学）	バターを50%ないし100%植物ステロールエステルに置換した際のデニッシュパンの調理特性について、物性測定、官能評価等から検討を加えた。
石田 智宏	論文「世代の利他心と子世代のケイパビリティによる世代間衡平性へのアプローチ」	郡山女子大学研究紀要第50集（2014.3）	世代重複する二つの世代が情報対称性を高めることで子世代のケイパビリティを高めることを論じた。
	共著『キャリアデザイン』	郡山女子大学キャリア教育推進委員会（2014.3）	本学のキャリアデザインⅠ第13回授業部分担当
安田 純子	「場所と人が考える震災後の観光－被災地における観光の2つの考え方」（論文）	「総合観光研究」第11号 総合観光学会	ボルノーやパスモアの考えなどを踏まえ被災地在住の立場から、場所と人という観点で観光を考えた。
	「震災後の生活変化と観光利用－被災地福島を中心に」（論文）	郡山女子大学紀要50号	震災後の生活等の変化を各種データから考察し、ストレス解消の一つとなっている観光旅行について検討した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	共著『キャリアデザイン』	郡山女子大学キャリア教育推進委員会（2014.3）	本学のキャリアデザインⅠ第4～6回、第9～11回授業部分担当
	「アボリジニの生活・文化と観光」	日本観光学会第103回全国大会発表要旨集 日本観光学会	オーストラリアの先住民であるアボリジニの文化について観光との関わりや結びつきについて考察した。
	「先住民文化の観光資源化－アボリジニ文化を事例として」	日本観光学会第104回全国大会発表要旨集 日本観光学会	アボリジニ文化を事例として先住民文化の観光資源化について考察した。
	「アボリジニの生活・文化と観光」	日本観光学会第103回全国大会発表 日本観光学会	オーストラリアの先住民であるアボリジニの文化について観光との関わりや結びつきについて考え発表した。
	「先住民文化の観光資源化－アボリジニ文化を事例として」	日本観光学会第104回全国大会発表 日本観光学会	アボリジニ文化を事例として先住民文化の観光資源化について発表した。
川 上 貴 大 佐 藤 篤 史 高 屋 朋 彰 関 口 晋	学校図書館における室内微生物調査－書架空間における好乾性真菌の消長－	平成25年 室内環境学会学術大会 講演要旨集 P.78-79	学校図書館における好乾性真菌の消長及びその温湿度との関係性に関する調査・考察
笹 田 琴 美	アルコール依存症の父をもつ女子学生の心理査定－被虐待児の反応特徴と発達障害との類似性－	郡山女子大学紀要第50集	虐待的環境の中で育った女子学生の心理査定分析である。通算32回の心理療法のなかで起こった変化や、「語り」の中から見える行動の理由などに注目しながら、6種類の心理テストを分析し、被虐待児の反応特徴や発達障害との類似性や相違性を考察した。
	共著「キャリアデザイン」	郡山女子大学キャリア教育推進委員会（2014.3）	本学のキャリアデザインⅠ、第6～8授業部分担当

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
渡 邊 英 勝	「福祉教育を問い直す～地域福祉推進のために～」	郡山女子大学研究紀要第50集	本研究は、これからの福祉教育推進に対するこれからの視点や考え方を整理し、検討する。また、これから求められる福祉教育とはどのようなものか、一元論を中心として述べる。
	「ソーシャルアドミニストレーションの実践学」	一般社団法人静岡県社会福祉士会実践研究誌第12号 「社会福祉士静岡」	本研究は、福祉現場の最前線で働くソーシャルワーカーに、ソーシャルアドミニストレーションについての再確認と、このことにより、この援助技術を実践の場での活用促進に寄与することを目的とする。
泉 秀 生	(著書) 『キャリアデザイン』(共著)	郡山女子大学キャリア教育推進委員会(2014.3.)	本学のキャリアデザイン I、第12～13授業部分担当
	(論文) 静岡県磐田市の幼稚園幼児における2012年生活習慣の実態とその課題(共著)	日本食育学会議『食育学研究』vol.7 No.2, pp.22-35, 2013.	静岡県磐田市の幼稚園児1,040名の生活実態調査から、子どもたちの生活実態とその課題、改善策を示した。
	徳島県に居住する幼稚園幼児の生活実態と保護者の意識に関する一考察(共著)	日本食育学会議『食育学研究』vol.7 No.2, pp.36-43, 2013.	徳島県の幼稚園児416名の生活実態とその保護者の育児への意識について調査し、生活課題や改善策を示した。
	子育てをしながら働く母親と幼児の健康管理(共著)	日本食育学会議『食育学研究』vol.7 No.2, pp.44-49, 2013.	保育園児とその母親の生活習慣調査から、母親の仕事や生活が、子どもを夜型化させることを明らかにした。
	韓国仁川市における児童の生活状況とその課題(共著)	日本食育学会議『食育学研究』vol.7 No.2, pp.82-117, 2013.	韓国仁川市の小学校児童472名の生活調査を実施し、日本の児童同様に、夜型化している実態を報告した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	保育園幼児の生活実態に関する研究－生活実態（平日）の年間調査結果からみた一考察－（共著） （学会発表） 幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開（XⅣ）－保育園幼児の生活実態（2012年調査報告）とその課題－	日本幼少児健康教育学会『幼少時健康教育研究』第19巻1号, pp.34-42, 2013. 日本子ども家庭福祉学会第14回全国大会, 2013年6月	岡山県の保育園児とその両親の平日の生活実態調査を実施し、社会全体で取り組むべき課題を明らかにした。 2012年度の保育園幼児の生活課題として、遅寝で短時間睡眠であり、朝食欠食児が1割以上いることを確認した。
	Relation between Japanese kindergartener's lessons and lifestyles in 2012	9th the Asian Society of Physical Education of Young Children in Osaka Symposium & Workshop, 2013 Aug	Children "Taking a dynamic lesson" possessed comfortable tiredness from the lesson, which leads children to keep an appropriate life rhythm.
	幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開（XⅨ）－幼稚園幼児の生活実態（2012年調査報告）とその課題－	日本幼児体育学会第9回大会, 2013年9月	近年の幼稚園幼児には短時間睡眠児や朝食欠食児、外あそび時間が1時間未満の幼児の多いこと等を報告した。
	幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開（XⅧ）－幼稚園幼児と保育園幼児の生活実態（2012年調査）の比較とその課題－	日本乳幼児教育学会第23回大会, 2013年11月	幼稚園児の夕食開始の遅れや、保育園児の就寝時刻の遅れ、睡眠時間の短さが顕著であったことを報告した。
	ラウンドテーブル話題提供者 もちよろう、子どもの生活リズム向上を目指した各地の企画と実践	日本乳幼児教育学会第23回大会, 2013年11月	「日本全国の幼稚園幼児と保育園幼児の広域調査結果からみた生活課題」として、近年の取り組みを報告した。
阿 部 恵利子	寺院建築に対する意識調査（その1）－2地方の寺院に対する興味比較－	日本建築学会大会学術講演梗概集, 2013年8月	仏教の歴史的背景が異なる福島県及び北海道における建築学生の寺院への興味、寺院建築の変化に対する意識を明らかにした。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
	寺院建築に対する意識調査（その2）－2地方の外観デザインイメージ比較－	日本建築学会大会学術講演梗概集，2013年8月	福島県及び北海道における建築学生の寺院の外観デザインイメージについて、嗜好性、伝統性、郷土性を明らかにした。
廣 野 正 子	【論文】 和 秀俊・廣野正子・満石 寿・遠藤伸太郎・濁川孝志：日本人の持つスピリチュアリティ概念構造の探索的な分析－心の問題から生じる社会問題の解決に向けて－	立教大学コミュニティ福祉学部紀要，16	日本人のスピリチュアルケアに向けて、スピリチュアリティの構成概念を質的研究により、新たな概念枠組みを構築することができた。
	【口頭発表】 仕事満足度を規定する要因としてのSense of Coherence (SOC) －特別養護老人ホーム介護職員の場合－	日本社会福祉学会第61回秋季大会（2013.9.21 北星学園大学）	特別養護老人ホーム介護職員において、ストレス耐性としてのSOCが仕事満足度を規定する要因であることを発表した。
岡 部 聡 子	共著出版 『キャリアデザイン』	郡山女子大学キャリア教育推進委員会（2014.3）	本学のキャリアデザインⅠ、第6回授業部分担当
影 山 志 保	相模原市内の土砂のセシウムレベル （ポスター発表、共同）	第22回環境化学討論会、第22回環境化学討論会発表要旨集（2013）	震災前（2008年）と震災後（2012年）の相模原市内の土砂37試料のセシウム汚染レベルを測定し、比較した結果について発表した。
	母乳の放射線測定 （口頭発表、共同）	第42回福島県保健衛生学会講、第42回福島県保健衛生学会講演要旨集（2013）	福島、山形、秋田、神奈川県から2012年と2013年に提供をうけた母乳の放射線量を測定し報告した。
	全国大気試料中の多環芳香族類とその誘導体 （ポスター発表、共同）	第22回環境化学討論会、第22回環境化学討論会発表要旨集（2013）	大気中に含まれるBaPよりも強い発がん性を示すPAHsとその酸化体であるO-PAHs、含硫黄ヘテロ体PASHsの測定方法を検討し、国内濃度分布を報告した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	ベトナムにおける <i>in vitro</i> バイオアッセイを用いた河川流域の環境モニタリング (ポスター発表、共同)	第22回環境化学討論会、第22回環境化学討論会発表要旨集 (2013)	経済発展に伴い未処理廃水や下水による水質汚濁が進行しているベトナムにおける汚濁の把握を目的とし、 <i>in vitro</i> バイオアッセイを実施し、汚染の評価を試みた。
	大気中の高懸念PAH；ベンゾ [c] フルオレンの大気中濃度と国内分布 (ポスター発表、共同)	日本環境変異原学会第42回大会、日本環境変異原学会第42回大会要旨集 (2013)	大気粉塵中に含有する強発がん性物質であるPAHs、O-PAHs、PASHsの測定方法を検討し、国内濃度分布を報告した。
	Concentration of PAHs, O-PAHs and PASHs in Total Suspended Particulate and Gaseous Phase in Japan (ポスター発表、共同)	ISPAC24/America(2013)	PAHs、O-PAHs、PASHs等ガス状物質の、国内濃度分布を報告した。
	Contribution of Benzo[a]pyrene to Mutagenicity in Ambient Air Collected at 11 sites in Japan From 2007 to 2009 (ポスター発表、共同)	ISPAC24/America(2013)	2007年から2009年に国内11地点で実施した大気浮遊粉じん中の変異原性とBenzo[a]pyreneの分布について報告した。
	Characteristics of the transformation frequency at the tumor promotion stage of airborne particulate and gaseous matter at ten sites in Japan (誌上発表、共著)	<i>Environ. Sci.:Process Impacts</i> , 2013 15, 1031	国内大気浮遊粒子中のプロモーション活性をがん遺伝子導入細胞を用いた発がんプロモーター活性により評価した結果を報告した。
先 崎 和 子	管理栄養士養成大学約1,000名における震災時栄養士活動に対する認識・意識等の検討 (共同研究)	第60回日本栄養改善学会学術総会示説発表 (2013年9月)	管理栄養士養成大学学生を対象に災害支援に関する栄養士の活動についての知識、意識を調査し、東日本大震災の経験を最大限教育に活用するため検討を加えた。
	論文 福島県における食育推進状況と課題 (共著)	郡山女子大学 研究紀要第50集 (2014年3月)	福島県における食育推進状況により食育の取り組みを継続的にかつ効果的に推進するためのあり方について考察した。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
亀田 明美	給食管理実習の食事計画における給与栄養目標量の配分割合の検討 (共著)	郡山女子大学紀要第50集 (2014年3月)	給食管理実習の履修者を対象に食事調査を実施し、1日当たりの食事摂取量を評価した。さらに給食からの摂取割合を算出し、今後の給食管理実習における給与栄養目標量の配分割合を検討した。
	学校給食における食事摂取基準の活用に関する研究－児童生徒個々の実態と給食のエネルギー量の関係－	口頭発表 第61回東北学校保健学会, 2013年8月	日本人の食事摂取基準や学校給食摂取基準を参考に、個々の児童生徒の実態に基づき、学校給食として提供すべきエネルギー量を検討した。
	学校給食における食事摂取基準を活用した給与エネルギー量の検討 (共同研究)	第60回日本栄養改善学会学術総会, 2013年9月	学校給食の食事計画のために対象者のアセスメントを行い、学校給食摂取基準を用いて給与エネルギーを決定する算定作業手順を検討した。
郡司 尚子	エゴマの利用に関する実態調査	『郡山女子大学紀要』 第50集(2014.3)	『エゴマの利用について』アンケートを行い、エゴマの認知度や呼び名、利用方法、エゴマを利用した加工食品などについての調査結果をまとめた。
遠藤 恵	生活上のリスクに対する意識と対策行動に関する調査 (共同研究)	(一社)日本家政学会第65回大会(2013年5月、於:昭和女子大学)研究発表要旨集、p.187	福島原発事故による放射性物質汚染リスクに対する学生の意識と低減化行動に関する調査を実施した。
	東日本大震災前後の家庭科教育の現状－「防災・減災」に関する教科書分析およびアンケート調査から－	日本家庭科教育学会第56回大会(2013年6月30日、於:弘前大学、研究発表要旨集、P.90-91)	家庭科教育内容への提言を目的に、東日本大震災に関するアンケート調査を本学卒業の家庭科教諭対象に実施。
	福島県内高等学校家庭科担当者対象「東日本大震災と生活」に関する調査報告書 (共著)	郡山女子大学人間生活学科家庭科教育ワーキンググループ、平成25年10月発行	家庭科教育内容への提言として実施した、東日本大震災と原発事故時の意識と生活変化に関する調査報告書。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
善 方 美千子	東日本大震災時における避難所の食事について －石巻市立湊中学校における食事からの検討 (第2報)－ (共同研究)	第60回日本栄養改善学会学 術総会講演会要旨集p.192 (2013年9月 神戸)	震災当初に避難所で提供された55日間の食事の栄 養素量を算出し、評価ならびに食事提供の在り方 について検討報告した。
中 村 真智子	福島県における食育推進状況と課題 (共著)	郡山女子大学 研究紀要 第50集 (2014年3月)	福島県における食育推進状況により食育の取り組 みを継続的にかつ効果的に推進するためのあり方 について考察した。
横 田 和 子	給食管理実習の食事計画における給与栄養 目標量の配分割合の検討 (共著)	『郡山女子大学紀要』 第50集 (2014.3)	給食管理実習の履修者を対象に食事調査を実施し、 1日当たりの食事摂取量を評価した。さらに給食 からの摂取割合を算出し、今後の給食管理実習に おける給与栄養目標量の配分割合を検討した。
	台湾産腐乳の諸成分ならびに細菌叢の特徴 (共 著)	淑徳大学看護栄養学部紀要 第6号 (2014.3)	台湾で製造された腐乳の微生物および遊離アミノ 酸組成などについて検討した。
石 村 由美子	子どもの食生活実態調査 (その1) －保育所・幼稚園児の調査より－	日本調理科学会平成25年度 大会 (ポスターセッション 奈良女子大学 平成25年8 月)	子どもを取りまく食生活の実態を明らかにするこ とを目的とし、郡山市内の幼稚園児・小学生を対 象に食生活調査を行った。本発表では、保育所及 び幼稚園へ通園する年少・年長児の結果について 集計・分析し、考察を加えて発表を行った。
坂 上 茂	キャリアデザインⅠ・Ⅱ	郡山女子大学キャリア教育 委員会 2014年3月	キャリアデザインⅡの授業を担当し、キャリアデ ザインⅡの項目を共同執筆
三 瓶 令 子	「保育者養成校のピアノの授業における学生の 心理的ストレスに関する研究－個人レッスンと 集団レッスン (ML) との比較から－」 (共同 研究)	平成25年9月7日(土) 国際幼児教育学会 第34回大会 口頭発表	本研究は、幼児教育学科のピアノの授業における 学生の心理的ストレスはどのうなものかについて、 個人レッスンと集団レッスン (ML) との比較か ら考察した。調査対象は、幼児教育学科の1、2 年生である。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	第35回「おかあさんコーラスまつり」～2013 “音楽都市こおりやま”市民音楽祭主催行事～	郡山市民文化センター (2013.11.23) 主催：郡山のおかあさん合 唱連盟	附属幼稚園の母親による合唱団「KGCマミー コーラス」の指揮者として出場。「逢えてよかつ たね」「はじまり」の2曲を披露。
上野(一柳)智子	子ども民俗芸能「請戸の田植踊り」の舞踊動作 と構造 「川内村の民俗芸能」(仮題)「葛尾村の民俗芸 能」(仮題)	『民族藝術』第30号、民族 芸術学会 平成26年3月 31日予定 『福島県無形民俗文化財 被災調査報告書』福島県域 無形民俗文化財被災調査団 (文化庁、民俗芸能学会) 平成26年3月31日予定	福島県浪江町の「請戸の田植踊り」は、県内の田 植踊りの中で最も舞踊化が進んでいる。その舞踊 動作と構造を分析した。 平成23年以来約3年間の調査結果の最終報告書。 主に川内村と葛尾村の無形民俗文化財を担当した。
	『福島県民俗芸能継承状況アンケート調査結果 報告書』	福島県民俗芸能継承状況ア ンケート調査業務事務局 平成26年3月31日予定	福島県内の民俗芸能の震災後の継承状況を、ア ンケート結果をもとにして、分析・考察した報告書。
村 田 清	ジェントルティーチングを实践して キャリアデザイン	日本ジェントルティーチン グ研究会第14回公開ワー クショップ H25.10.29～30 郡山女子大学キャリア教育 推進委員会	ジェントルティーチングの福島県及び児童養護施 設での実践について研究発表を行った。 本学のキャリアデザイン、第12～13回授業部分担 当
島 山 祥 正	「南文庫」の概要とその利用について(研究 ノート) 保育者のまなざしを育てる － 保育者養成における「学び」をめぐる－	北陸学院大学・同短期大学 部紀要第6号、共著(熊田 凡子) 2014年3月 郡山女子大学紀要第50集 2014年3月	戦前に新教育を学んだ保育者・南信子の洋書及び 手稿ノートのリストを作成し、保育論探求の手が かりとした。 「保育を造り出す保育者」を育てるために、堀合 文子と津守真の対談から子どもとかかわる大切さ を学んだ。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
久 家 三 夫	「道しるべ」 F130号・キャンバスにアクリル・金箔	春陽展・於／国立新美術館 H25.4.17～4.30・会員出 品	この世界の真理を可視化する試み。
	同上	第8回会津美里町総合美術 展／会津美里町役場本郷庁 舎H25.9.6～9.13・招待 出品	同上
	同上	第81回福島県美術協会展／ 福島県文化センター・ H25.11.15～11.24・招待出 品	同上
	「神の火は神のもとに」F30号・キャンバスに アクリル・金箔	第67回福島県総合美術展／ 福島県文化センター H25. 6.21～6.30・招待出品	この世界の真理を可視化する試み。
浅 野 章	「溶け合う関係」	“第87回国展” 東京六本木・国立新美術館 2013年5月 その後、愛知県美術館ギャ ラリー・大阪市立美術館・ 福岡市立美術館を巡回	「人の心の中にある原初的なもの。そして今の自 分の記録としての“風景”。」というテーマを基に 油彩画で表現した大型作品（182×227cm）、1点 を発表。
	「素描」	同上“チャリティー展” 2013年5月	同上テーマの素描作品1点を発表。
	「廻る絵」	“第67回福島県総合美術展” 福島県文化センター 2013年6月	同上テーマの作品1点を発表。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「大地の女・Ⅱ」	“オーロ遊び展” いわき市・アートスペース泉 2013年8月	同上テーマの作品1点を発表。
	「ぼくの原始」	“浅野アキラ絵画展” 会津若松市ギャラリー三遊 2013年10月	同上テーマの作品24点を発表。
	「樹魂Ⅱ」	“第57回郡山市総合美術展” 郡山市文化センター 2013年11月	同上テーマの作品1点を発表。
	「私的トルソ」	“ふるさとの森芸術村収蔵 作品展” 矢吹町ふるさとの森芸術村 2014年1月	同上テーマの作品1点を発表。
	「輝きびと・赤」	“画廊企画特別展” 会津若松市ギャラリー三遊 2014年2月	同上テーマの作品3点を発表。
岡 部 富士夫	・作品発表・編曲		
	さくら（日本歌曲研究会）	6月7日	上野奏楽堂
	うねめロック	8月3日	うねめ祭り
	・演奏会（指揮・審査）		
	郡山吹奏楽団スプリングコンサート	4月21日	郡山市民文化センター
	アマデウス室内管弦楽団定期演奏会	5月26日	郡山市民文化センター
	お母さんコーラス東北大会	6月9日	福島県文化センター

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
	郡山市民オーケストラ	7月7日	郡山市民文化センター
	アンサンブルフェスタ	8月4日	福島市音楽堂
	NHKコンクール高校の部（審査）	8月22日	福島市音楽堂
	南会津コンクール小中学校の部（審査）	8月23日	御蔵入交流館
	お母さんコーラス県大会（審査）	10月13日	いわきアリオス
	日米合同合唱祭	10月19日	カーネギーホール
	郡山女子大学定期演奏会	11月2日	建学記念講堂
	クリスマスコンサート	11月17日	ハマツ
	お母さんコーラス祭り	11月23日	郡山市民文化センター
	郡山市民オーケストラ	12月15日	郡山市民文化センター
	日米合同合唱祭帰国演奏会	12月17日	福島テルサ
深 谷 登喜子	第44回郡山女子大学定期演奏会	平成25年11月2日	郡山女子大学建学記念講堂
	深谷登喜子ピアノリサイタル	平成26年3月10日	メグレズホール
野 沢 謙 治	「家世実紀」にみる会津藩保科家・松平家の冠婚葬祭	風俗史学53号（平成26年3月） 日本風俗史学会	歴代会津藩主の成人式、結婚式、葬式、先祖祭祀の特徴を考察。
齋 藤 美保子	「プールドル作<長髪のベーターヴェン>と佐藤忠良作<母の顔>-郡山女子大学のブロンズ像の展示論的解釈-」（単著）	『郡山女子大学紀要』第50号（2014年3月）	建学記念講堂展示ギャラリーに常設されているブロンズ像二体の展示方法から、創立者の建学の精神を読み解いた。
	「高木晴子の揮毫句とキュー・ガーデン虚子句碑建立」（単著）	『国文学年次別論文集 近代5 平成22年版』学術文献刊行会（2013年11月）	『郡山女子大学紀要』第46集に掲載した同名論文の転載収録。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
	「会津木綿あれこれ」(単著)	『玉藻秋物語』NO.56 (2013年8月) 10-11頁	会津木綿を服飾美学的に調査した際の随筆。
	「浅井忠の滞仏漢詩について」(口頭発表)	日本漢詩文學會第三回例会 2014年3月8日 共立女子大	浅井忠と和田英作の共著『愚劣日記』所収の漢詩二編を読み下し、画業と比較しながら解釈した。
	「新島八重の洋装－同時代の印象派絵画に見る パスル・スタイル－」	『文化学科(資格課程)報告書』第16集 50-65頁 (2014年3月)	オープンキャンパス模擬授業の講義録。1888年の新島八重の洋装が、モリゾやスーラも描いたパスル・スタイルであることを紹介した。
何 燕 生 (福島寅太郎)	(論文) 1. 六祖慧能与『壇經』論著目録集成(共著) 担当ページ146~176ページ 2. 道元対宏智正覚的理解 ——中日 曹洞宗交流の一側面—— 3. 生活禪可以適用於日本嗎? ——当代日本大学生課堂問卷調查報告—— 4. 淨慧長老与禪文化的海外傳播 ——以『生活禪鑰』日文翻譯及其出版為中心的討論——	広東省仏教協會、2013年9月。 漢伝仏教的跨文化交流国際 學術研討會論文集、1ページ~15ページ。台湾国立政治大学、台湾中華仏学研究 所共催。2013年10月。 第四届黃梅禪文化高峰論壇 論文集 505ページ523ページ。湖北省民族宗教委員會、 黃梅禪文化研究会共催。 2013年12月。 第三届河北禪文化論壇論 文集 21ページ~34ページ。 河北省社会科学院哲学研究 所、河北省仏教協會共催。 2013年5月。	百年來の研究成果を中国語、英語、日本語、韓国語に分けて纏めたもの。日本語で公刊された研究成果を担当した。 『永平宏録』などにおける道元の宏智への言説を手がかりに、道元が宏智の禪思想を一体どのように理解したかを検討し、それによって12世紀~13世紀における中日の曹洞禪交流の一端を明らかにした。 『生活禪のすすめ』を対象とした授業のアンケート調査の結果を分析したもの。授業への理解度や「生活禪」についての感想などを内容としたもの。 筆者が企画及び共訳した著者浄慧師の著『生活禪のすすめ』の出版後の日本の学会の反応について分析した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
	(学会発表) 1. 現代東アジアにおける社会参加仏教 ——震災・生活禅・慈善——	第55回印度学宗教学会学術大会 (2013年6月2日、於駒澤女子大学)	四川大地震と東日本大地震という二つの震災に際して、東アジアの宗教者は一体どのような行動を採ったかを調査し、その社会参加のさまざまな動向を分析した。
	(講演) 1. 芙蓉道楷禅師、大洪山の再建と現代中国仏教事情	2013年度曹洞宗宮城県祖門会役員研修会、2013年12月17日、於松島ホテル大観荘	中国の随州にある禅宗の祖蹟である大洪山の復興を契機として、その歴史的な位置づけや日本との関係について講演した。
	2. 中国湖北省の祖蹟 ——日本曹洞宗とのかかわり——	2013年度NPO清風の会総会、2014年2月6日、於松島ホテル大観荘	随州の大洪山、当陽の玉泉寺および黄梅の四祖寺、五祖寺の現状と日本との関わりについて、映像や写真などを用いて報告した。
太 宰 待 子	型絵染着物 「鸚鵡」	第87回国展 (2013.5.1 - 5.13) 国立新美術館 (東京・六本木)	自然界にモチーフを求め、型絵染の幾何学的構成で「おうむ」を表現した着物の作品及び国画会工芸部図録に掲載
	型染卓布・ 「鸚鵡」ポストカード	第85回国展チャリティー展 (2013.5.1 - 5.13) 国立新美術館 (東京・六本木)	<自然保護・社会福祉のためのチャリティー> 自然界にモチーフを求め、型絵染で表現した作品及び型絵染着物「鸚鵡」のポストカード
	型絵染着物 「極楽鳥花」	第21回河北工芸展 (全国展) (2013.10.18 - 10.23) 宮城県仙台市せんだいメディアアーク6F	自然界にモチーフを求め、幾何学的構成で表現した着物の作品及び図録に掲載 (河北新聞紙上作品掲載)

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	型絵染着物「いにしへのⅡ」	国展工芸部「秋季展・受賞作家展」(2013.12.3-12.8) 銀座アートホール(東京都中央区銀座)	自然界にモチーフを求め、幾何学的構成で表現した着物の作品
	太宰待子型染展 (協賛)	細谷ギャラリー(山形市) (2013.12.8-12.11)	自然界にモチーフを求め、型絵染で表現した着物(5点)
	太宰待子型染展 (協賛)	伊と幸展(東京日本橋) (2014.1.8-1.10)	自然界にモチーフを求め、型絵染で表現した着物(5点)
知 野 愛	(共著)『キャリアデザイン』 (論文)「戦後農村の生活改善普及事業と結婚式簡素化の一側面 -スライド資料に着目して-」 (学会発表)「生活改善普及事業のスライド資料にみる家電製品の推奨」	郡山女子大学キャリア教育推進委員会(2014.3) 「郡山女子大学紀要第50集」(2014.3) 第58回日本家政学会東北北海道支部(於:尚綱学院大学、2013.9.14)、研究発表要旨集p.18	本学のキャリアデザインⅠ、第4回~6回授業部分担当。 生活改善普及事業の一つである結婚式の簡素化に着目し、新憲法に基づく婚姻のあり方の具体的内容を考察した。 生活改善普及事業の中の家電製品の推奨に着目し、具体的に台所改善と家事労働軽減を勧めようとした内容を考察した。
古 山 幹 雄	共著『キャリアデザイン』	郡山女子大学キャリア教育推進委員会(2014.3.)	本学のキャリアデザインⅠ、第12、13回授業部分担当
會 田 久仁子	Nブックス 栄養指導論 (分担執筆)	建帛社 2013年12月20日発行	健常者を対象により良い食習慣の変容や健康づくりをめざして栄養指導を行う栄養士の養成教育のために編集された改訂版である。第2章栄養指導の沿革を分担した。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
水野時子	〔口頭発表〕 低酸素曝露に対するラットの生体応答（共同研究）	第20回日本ヘモレオロジー学会（獨協医科大学、11月16日）	低酸素曝露により多血症モデルラットを作製し、低酸素曝露群ラットの血漿中遊離アミノ酸は分岐鎖アミノ酸が上昇、芳香族アミノ酸が低下し、フィッシャー比が有意に上昇したことを報告した。
早川仁	早川仁 個展 会期 6 / 8(土)～6 / 23(日)	会津三遊画廊	油彩画（F20～SM号）を中心に26点出品
	福島県総合美術展（洋画の部） 会期 6 / 21(金)～6 / 30(日)	福島県文化センター	「不機嫌な男」F-30号キャンバス・油彩 委嘱出品
	福島県県南美術展 会期 9 / 20(金)～9 / 23(月)	郡山市文化センター	「夜明け」F-50号キャンバス・油彩
	現代童画展 会期 11 / 8(金)～11 / 15(金)	東京都美術館	「追憶の日々」F-50号 キャンバス・油彩
	前年個展開催作家展 会期 2 / 2(日)～2 / 13(木)	会津三遊画廊	油彩画 4点出品（F4号・初恋、F4号ピアノを弾く少女、F4号・白い窓辺、SM号・木陰の椅子）
草野葉子	「陽炎・2013」	第63回モダンアート展 東京都美術館 平成25年4月2日～16日	「見る」「見える」ことへの問いかけをテーマとした、鏡と鏡面上の虚像による構成作品。
	「7×7の世界」 「5×5の宇宙」	ふくしま在住作家展 アートスペース羅針盤（銀座） 平成25年6月3日～8日 羽山の森美術館（川俣） 平成25年7月2日～9月1日	私たちが生活する空間のひとコマを切り取り、植物の形・色・質感等をモチーフとして構成した作品。
	「7×7の世界・II-T」 「7×7の世界・II-L」	第28回モダンアート福島展 ギャラリーアブドウ（会津） 平成25年7月25日～30日	同上

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
滝 田 良 子	震災から2年半たって～私たちが歩んできたこと、そして、これから～	福島虐待問題研究会誌 (2013.11) 共著	子育て支援・虐待防止の現状と課題 ・子育てボランティア「おれんじキャット」の活動を通し、支援のあり方など情報提供を行った。
	〈口頭発表〉 東日本大震災後の保育の取り組みの変化と課題～放射能災害後の2年半の経過を巡って～	国際幼児教育学会第34回大会（東京福祉大学2013.9.7）	・放射能災害下の保育の対応とその問題点について、子どもへの直接的影響、保護者の動向と保育者の意識の変化等から、保育について客観的な評価を行い、改善の余地を明らかにしさらなる支援の必要性を論じた。
	虐待防止活動から被災者支援、子育て支援の強化へ	日本子ども虐待防止学会第19回学術集会 (信州大学2013.12.13～14)	・当研究会ボランティア「おれんじキャット」が避難解除になった町村の避難先の仮設住宅に向き「子育てサロン」を開設し、虐待防止のための活動状況等をポスターセッション発表。
小 林 徹	(著書)		
	①「考える力」を育てる教育実践の探求	ジアース教育新社・共著	第5章第1節「国語の授業『人を好きになるということ』」
	②改訂版 障害のある子どものための国語（聞くこと・話すこと）	東洋館出版社・共著	「話すこと [特別支援学級・中学校] 内容をまとめて話をしよう」
	③改訂版 障害のある子どものための算数・数学（数と計算）	東洋館出版社・共著	第4章「買い物 の 指導」8「概算」
	④拓き・確かめ・響きあう知的障害教育の実践	田研出版株式会社・共著	第5章「子どもと響き合う国語指導」
	⑤新版保育内容「言葉」	一藝社・共著	第13章「言葉に関連する障害」
⑥ことばの授業づくりハンドブックー特別支援学級と通常学級の子どもたちへの国語教育ー	溪水社・共著	第三部第三章「思春期の育ちを支えることばの授業」	

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	(論文) 学生に身につけてほしい「障がい児保育」の専門性	郡山女子大学研究紀要第50集・共著	「専門性」概念の変遷を概観し、「障害児保育の専門性」を保育者養成校の教員としての観点から検討した。
	(学会発表) ①障害児保育の専門性に関する検討	平成25年度全国保育士養成協議会 第52回研究大会 (香川県高松市2013.9.6)・単独	保育者志望の学生に身につけさせたい、障害児保育の専門性を、特別支援教育に関する研究を参考にして整理した。
	②保育者に身につけてほしいSNEの専門性とは	日本特別ニーズ教育学会第19回大会 (北海道教育大学2013.10.20) ・共同	特別な教育的ニーズ (SNE) を持つ子どもやその家族への支援を保育者養成校の教員としての観点から検討した。
横 溝 聡 子	第1回郡山市合唱連盟合同演奏会「たなばたコンサート」	平成25年7月7日 郡山女子大学建学記念講堂	北山陽一：青い鳥 阪井一生：証 他
	第80回NHK全国学校音楽コンクール 福島県コンクール 高等学校の部	平成25年8月22日 福島市音楽堂	郡山高等学校 伴奏 金賞受賞 高田三郎：『水のいのち』より 川
	第80回NHK全国学校音楽コンクール 東北ブロックコンクール 高等学校の部	平成25年9月7日 名取市文化会館	郡山高等学校 伴奏 金賞受賞 高田三郎：『水のいのち』より 川
	富永睦子&横溝聡子ピアノデュオリサイタル	平成25年11月10日 仙台宮城野区文化センター パトナホール	アレンスキー：組曲第1番 ドビュッシー：小組曲 ラフマニノフ：組曲第1番「幻想的絵画」 他
	富永睦子&横溝聡子ピアノデュオリサイタル	平成25年11月28日 郡山市民文化センター	デュカス：魔法使いの弟子 インファンテ：アンダルシア舞曲 他

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
	佐野悦郎リサイタル&フルート室内楽	平成25年12月12日 東京オペラシティ リサイタルホール	エルマン：ドニゼッティの歌劇《ランメルモールのルチアの思い出》幻想協奏曲（ピアノ） バッハ：管弦楽組曲第2番（チェンバロ）
桑野 聡	「東北とヨーロッパの出会い－ロシアとドイツの事例から」	『郡山女子大学紀要』第50集（2014.3.）	日本とヨーロッパ（欧米）文化との関係史を概観し、ロシアとドイツを例に、これからの東北とヨーロッパとの関わり方を考察した。地域文化論3回分の授業内容をテキストとしてまとめた。
	共著『キャリアデザイン』	郡山女子大学キャリア教育推進委員会（2014.3.）	キャリアデザインⅠ・Ⅱの教材集を編集・執筆。
	「岐路に立つ大学・短大の学芸員養成－平成25年度全国大学博物館学講座協議会東日本部会大会に参加して」	『文化学科資格課程報告集』第16集（2014.3.）	2013年10月19日に国士舘大学世田谷キャンパスにおいて開催された全国大学博物館学講座協議会東日本部会大会の内容をまとめ、紹介した。
	[口頭発表] 「中世のベルリン－巨大都市の小さな始まり」	放送大学福島学習センター 公開講演（いわき） 2014.2.8.	現在のドイツ連邦共和国の首都ベルリンの誕生した中世の様子を都市図から辿り、現在でも見ることのできる史跡（ニコライ教会・マリエン教会・市壁跡）などについて解説した。
會田 容 弘	「石割りのメソッドとテクニク－石器技術学における実験の寄与－」（編集）	『山形考古』第43号pp.1～22（2013.8）	2009年9月に開催された日本考古学協会山大会で行われたJ.ベルグラン博士の講演「石割りのメソッドとテクニク」の全講演内容を起こして、解説をつけたものである。
	「笹山原遺跡No.16第13次発掘調査」	『第27回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集』 pp.35－42（2014.2）	2013年に実施した笹山原遺跡No.16の調査のうち特に旧石器に関する調査及び、第2石器集中についてその特徴を論じた。
	「新潟県津南町檜ノ木平遺跡第3次発掘調査－間接打撃の可能性と年代測定資料の採取－」	『第26回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集』 pp.43－57（2014.2）	2013年に実施した檜ノ木平遺跡の発掘調査の概要及び石器製作技術の特質を論じた。（大場正善ほかと共著）

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
	「2013（平成25）年度文化学科考古学発掘実習報告－笹山原No.16遺跡第13次発掘調査－」	『文化学科（資格課程）報告集』第16集（2014.3）	2013年に実施した笹山原遺跡No.16の調査の全体の経過及び調査内容を記述した。特に平安時代の土師器焼成に関わる遺構について詳述している。
	「古代会津地方の土師器生産－会津若松市笹山原遺跡No.16の資料を用いて－（口頭発表）」	東北史学会考古学部会（2013.10.13）（於：東北大学）	笹山原遺跡No.16から検出された遺構と遺物を用い、土器製作の動作連鎖概念を用いて会津地方における平安時代の土師器生産の在り方を論じた。
山 口 猛	郡山女子大学におけるICT環境の分析と提案	郡山女子大学紀要第50集（2014.3）	近年、教育機関における“より能動的な学習環境”を実現するためのICT環境整備の取り組みが加速している。これらの動向に先駆け、郡山女子大学では平成12年度よりパソコンの無償貸与を開始したが、ICT運用実績を分析・評価し、近年のICTトレンドを考慮したより効果的な学習環境のあり方を提案した。
	共著『キャリアデザイン』	郡山女子大学キャリア教育推進委員会（2014.3）	本学のキャリアデザインⅠ、第2・3・12・13授業部分担当
金 子 依里香	女子大学生における5年間の体力の推移（共著）	郡山女子大学研究紀要第50集（2014年3月）	本学女子大学生の過去5年間（平成20年～平成24年）の体力測定の数値について分析を行い本学学生の体力の変化およびそれぞれの体力値と全国平均値との比較を行った。その結果、本学の学生は上体起こし、長座体前屈および反復横跳びの3種類で全国平均値よりも有意（ $p<0.05$ ）に劣ることが分かった。
小 林 澄 枝	「経管栄養患者の排便コントロールへのアプローチ」 下痢・便秘の対応策（発表）	第60回日本栄養改善学会学術総会（神戸） H25.9.12～14	長期経管栄養患者の便秘改善に濃厚流動食に食物繊維や乳果オリゴ糖を付加することで、その改善効果を調査・研究した。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
鈴木祥子	Disaster Prevention of the Rehabilitation Facilities for the Disabled	ポスター発表（共同） 第7回異分野融合地域防災シンポジウム （佐賀大学2013年12月13日）	施設への防災意識についてのアンケート調査を分析し、その結果をポスター発表として報告した。
鍋山友子	口頭発表（共同） 生活上のリスクに対する意識と対策行動に関する調査	日本家政学会第65回大会 平25年5月17日 開催地：東京都 昭和女子大学	生活環境中のリスクから地震、放射性物質に注目し、リスクマネジメントの視点で現状を把握するために学生対象のアンケート調査を実施した。時間の経過と共に危機感が薄れているのが今後の課題である。
	Queen's Dancing Showcase 2013に出演（主催 Queen's Dancing Studio代表 甲野藤一恵）	平成25年11月24日 会場：学校法人郡山開成学園建学記念講堂	出演曲目 1. Wine 2. Rain 3. Endless Love 4. Drinks for you 5. Final
	イノウエトシマロ・ダンスワールド14th Anniversary Summer Partyに出演（主宰 井上俊磨・佳奈）	平成25年6月30日 会場：磐梯熱海 ホテル華の湯	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目：Tango 鍋山友子／井上俊磨先生（JBDF2009年全東北プロスタンダードチャンピオン JBDF審査員）
	2013セキネダンススクール 舞踏晩餐会に出演（主宰 関根直行・友美）	平成25年8月31日 会場：ホテルサンルート白河	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目：Tango 鍋山友子／井上俊磨先生（JBDF2009年全東北プロスタンダードチャンピオン JBDF審査員）
	中村俊彦・青柳朋子引退記念晩餐会（主催 中村俊彦・青柳朋子引退記念晩餐会実行委員会）	平成25年11月23日 会場：東京 グランドプリンスホテル新高輪「飛天」	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目：Tango 鍋山友子／井上俊磨先生（JBDF2009年全東北プロスタンダードチャンピオン JBDF審査員）

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
	スカイダンス教室35周年記念クリスマス舞踏晩餐会（主宰 佐々木康孝・和子）	平成25年12月8日 会場：福島 ホテル辰巳屋	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目：Tango 鍋山友子／武石京介先生（JBDFプロスタンダードC級）
	イノウエトシマロ・ダンスワールドChristmas Night 2013に出演（主宰 井上俊磨・佳奈）	平成25年12月14日 会場：郡山 迎賓館グランプラス	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目：Waltz 鍋山友子／井上俊磨先生（JBDF2009年全東北プロスタンダードチャンピオン JBDF審査員） 出演種目：Tango 鍋山友子／武石京介先生（JBDFプロスタンダードC級）
	森ダンススクール19周年記念パーティーに出演（主宰 森利夫・高木恵子）	平成26年3月15日 会場：いわきワシントンホテル	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目：Waltz 鍋山友子／井上俊磨先生（JBDF2009年全東北プロスタンダードチャンピオン JBDF審査員）
山 上 裕 子	論文 デューイ教育思想にみる書くことの意味－大学生への指導の視点－	『教育新世界』新教育学会編 2014年3月刊行予定	経験の再構成を教育の目的とするデューイの教育思想をもとに、大学における書く指導の視点を示した。
	口頭発表 経験の再構成としての書くということ－デューイ教育思想に基づいた現代的課題への視点－	新教育学会主催 WEF国際教育フォーラム 2013年6月16日 於日本獣医生命科学大学	上記 論文と同じ
A.ジェプセン著、 京 免 徹 雄 訳	「主題外挿法：キャリア・カウンセリングとキャリアパターンの統合」	全米キャリア開発協会著、 仙崎武・下村英雄編訳 『D.E.スーパーの生涯と理論』図書文化社、2013年10月	本書は、キャリアガイダンス・カウンセリングの世界的泰斗とされるスーパー博士の追悼記念論集の翻訳である。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
京免徹雄	「自治活動を通して育まれる人間関係・社会形成能力ーキャリア教育における社会的・職業的自立を視野に入れてー」	日本特別活動学会『日本特別活動学会紀要』第22号、2014年3月30日発行予定	キャリア発達に向けた「基礎的・汎用的能力」の育成に特別活動がどのように資するのか、特に「人間関係形成・社会形成能力」の視点から検討し、実践上の課題を明らかにした。
	「子どもの進路を保証するために学校に何ができるか？ーフランス中等教育の比較研究からのアプローチー」	日本産業教育学会『産業教育学研究』第43巻2号、2013年7月、47頁	学会誌面上での若手研究者の交流の場である「活動のわ」において、これまでの自身の研究活動を振り返り、動機・目的・特色・今後の展望について述べた。
エイリック・ブレラ著、 <u>京免徹雄</u> 訳	「教育的懲戒の意味を考えるー権威と信頼のあいだで」	日仏教育学会『日仏教育学会年報』第19号、2013年11月、14ー16頁	教育的懲戒の3つのねらい（a.政治的ねらい、b.倫理的ねらい、c.心理的ねらい）と教育的懲戒の4つ原理（a.通告の原理、b.対象化の原理、c.剥奪の原理、d.社会化の原理）を明らかにした。
宮古紀宏、 <u>京免徹雄</u> 、三村隆男	「コミュニティ・スクールにおける地域人材を活用した学校づくりー上越市学校運営協議会の取組による特別活動への影響に着目してー」	日本特別活動学会第22回大会、鎌倉女子大学、2013年8月	新潟県上越市のコミュニティ・スクール制度に着目し、特別活動に焦点を当てて地域人材を活用した取組の実際を検討した。
織田栄子、上村裕樹、和田明人、河合規仁、利根川智子、岩井哲雄、 <u>京免徹雄</u> 、井上孝之	「保育実習指導のミニマムスタンダード（東北版）の策定に向けてIー調査結果からみた保育実習指導の実施時間と実施形態の現状ー」	全国保育士養成協議会第52回研究大会、かがわ国際会議場、2013年9月	保育実習指導に関わる養成校の取り組みの現状について明らかにし、東北ブロックにおいて取り組むべき課題と問題の焦点化を図るべく質問紙による調査を実施した。
岩井哲雄、利根川智子、和田明人、河合規仁、上村裕樹、井上孝之、織田栄子、 <u>京免徹雄</u>	「養成校教員の意識からみた保育実習指導の課題ー対話型アプローチによる研修結果からの分析ー」	全国保育士養成協議会第52回研究大会、かがわ国際会議場、2013年9月	保育実習指導をテーマとする対話型アプローチによる研修において得られた参加者の報告とコメントについて分析し、現状と課題を明らかとした。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
京免徹雄、河合規仁、和田明人、利根川智子、岩井哲雄、織田栄子、上村裕樹、井上孝之	「保育実習指導のミニマムスタンダード（東北版）の策定に向けてⅡ－調査結果からみた各養成施設における実習指導内容の特徴－」	全国保育士養成協議会第52回研究大会、かがわ国際会議場、2013年9月	保育実習指導におけるシラバスを分析し、各養成校における授業内容について特徴を明らかとし、望ましい実習指導のあり方を検討した。
京 免 徹 雄	「コミュニティづくりと キャリア教育の相互作用－新潟県上越市の取り組みを視野に入れて－」	日本キャリア教育学会・日本産業教育学会合同職業指導・特別部会企画シンポジウム「コミュニティ・スクールを活かしたガイダンスの機能の可能性」、名古屋大学、2013年10月。	「地域」と「キャリア」がどのように融合することで、「学校の地域化」と「地域の学校化」が発揮されるか、上越市の取り組みも視野に入れて検討した。
井上孝之、和田明人、上村裕樹、利根川智子、京免徹雄、河合規仁、織田栄子、岩井哲雄	「保育実習指導のガイドライン（東北版）の開発に向けて」	平成25年度全国保育士養成協議会東北ブロックセミナー山形大会、天童温泉「天童ホテル」2013年11月	全国保育士養成協議会東北ブロックの会員校における実習指導の内容を調査し、その結果をふまえて、「保育実習指導ガイドライン（東北版）」を創発した。
京 免 徹 雄	「キャリア教育に関する比較研究の在り方－資料論文『フランスの進路指導における 教員と相談員との連携』を手がかりに－」	日本キャリア教育学会関東地区研究大会、研究推進委員会第2回研究ワークショップ、日本体育大学、2013年10月	『キャリア教育研究』に掲載された拙稿を手がかりに、論文掲載に至るまでの研究プロセスについて概観し、キャリア教育に関する比較研究の在り方を検討した。
	『キャリアデザインⅠ・Ⅱ』	郡山女子大学キャリア教育推進委員会、2014年3月	キャリアデザインⅠの授業を担当し、教材集を作成。第1回、第9～第11回、第14～15回授業部分を担当。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
折笠国康 (2013) 河村 茂雄・武蔵由佳 (編)	かたさを突破!学級集団づくりエクササイズ ルールのなかでふれあいを深めるチェックポイ ント 中学校	図書文化 88-89, 100-101	満足型学級構築のポイントを実際の学校生活の事 例を通して論じた。
折笠国康 (2013)	反抗期の子に親はどう向き合うか 口を利かな い、親を避ける 児童心理 中学校現場での生徒指導の変革	金子書房 971, 96-100. 日本教育カウンセリング学 会第11回研究発表大会発表 論文集, 16	アドラー心理学の理論を基に、反抗期の子どもへ の対応を論じた。 管理型学級からの脱却の方法や理論を、実践例を 交えながら論じた。
永瀬悦子	助産師による「命の大切さ」を根底とした健康 教育の効果～児童の感想文の内容分析～ 東日本大震災後における児童を対象とした「命 のつながり」の健康教育効果に関する研究～児 童の学びの構造～ 助産師による命の健康教育を受けた小学生の学 びの様相に関する研究. ～感想文の内容分析～ 「命のつながり」の健康教育の効果に関する一 考察～小学生の学びと教育内容に着目して～	第22回日本健康教育学会学 術大会講演集『日本健康教 育学会誌』 第60回日本小児保健協会学 術集会講演集『小児保健研 究』 郡山女子大学研究紀要第50 集 郡山女子大学研究紀要第50 集	命の誕生の実践の場にいる助産師による命を大切 にすることを根底とした健康教育である「命のつ ながり」の児童(小学6年生)の学びを明らかに した。10サブカテゴリーから5カテゴリーが抽出 された。 東日本大震災後の福島原発問題の最中に助産師に よる「命のつながり」の健康教育の小学生の感想 文を質的統合法により分析し、学びの構造を明ら かにした。 「命」に関する健康教育である「命のつながり」 を受講した小学6年生の学びを明らかにするこ とを目的として、感想文の内容分析を行った。11サ ブカテゴリーから7カテゴリーが生成された。 6年間の健康教育の実践過程における小学生の感 想文を学びと教育内容との関連から考察した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
小 松 太 志	Di-Vision IO-VII	第28回モダンアート福島支部展（ギャラリーアブドゥ／2013.7.）	コンピュータ特性を応用した曲線分割と質感表現による造形美を探求した。
	Time Morph	福島青年美術の展望展（あだたら高原美術館 青／2013.11.）	「時間」を主題にインタラクティブ映像作品を制作した。
	共著『キャリアデザイン』	郡山女子大学キャリア教育推進委員会（2014.3.）	本学のキャリアデザインⅠ、第2～3回授業部分担当
松 田 理 香	「笑う門」	2013年現代童画会春季展（2013.4 / 銀座アートホール）	エアブラシ表現を中心としたイラストレーション作品
	「月の恒（ゆみはり）」 「虹をめぐる物語」 「水面のほいほい」 「夏の旋律」 「薫風の耀き」 他 (計17点)	日本テレビ「おしゃれイズム」スタジオアート (2013.7 収録・放映／日本テレビ放送網麹町分室)	同上
	「夕風の美学」	第39回現代童画展 (2013.11／東京都美術館)	同上
	「croix」「triangle」「cercle」 「quadrangle」「hexagon」 (計5点)	Color Party 2013 in 福島 「PINK」展 (2014.1 / 武蔵野美術大学校友会 基礎アの会&福島県支部 共同企画／会津稽古堂)	エアブラシ表現を用いた平面構成作品

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
黒 沼 令	「もたれる人」	・第87回国展彫刻部 国立新美術館 2013年5月	・作品サイズ 180×50×100cm ・素材 桂
	「眩く人」	・第50回宮城県芸術祭彫刻展 仙台メディアテーク 2013年10月	・作品サイズ 180×50×50cm ・素材 桂、エゾ松
	「すます」	・第36回国展彫刻部秋季展 2013年10月 東京都立美術館 ・福島青年美術の展望展 2013年11月 あだたら高原美術館	・作品サイズ 160×80×50cm ・素材 檜
	「侵蝕」	・第57回郡山市総合美術展 2013年12月 郡山市文化センター	・作品サイズ 60×25×30cm ・素材 朴、樺
磯 部 哲 夫	学習指導要領音楽の〔共通事項〕についての一考察 <前編> ～音楽を形づくっている要素と修辞学の関連性～ (単著)	郡山女子大学 紀要第50集 (2014年3月)	新学習指導要領音楽に新設された〔共通事項〕の、音楽を形づくっている要素に修辞学を取り入れ、歌唱共通教材の楽曲アナリーゼを考察した。前編では、音楽と言葉という視点から修辞学的音楽解釈を導き出し、〔共通事項〕との関連性を検証した。
	「キャリアデザイン」 (共著)	郡山女子大学キャリア教育 推進委員会 (2014年3月)	本学のキャリアデザインⅠ、第4～5授業部担当。若者の進路をとりまく環境、産業構造と労働市場の変化を考察した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
南 川 肇	Sommernachtstraum Konzert mit der Tokyo Clarinet Philhermony	7月25日 Ev.Stadtkirche S-Vaihingen Unter den Linden Stuttgart Germany	Atom Hert Club Suit No.1 / T.Yoshimatsu 他
	International Clarinet Association ClarinetFest 2013 Assisi Itary	7月28日 Cittadella Theatre Assisi Itary	Die Italienerin in Algier / G.Rossini 他
	東京クラリネットフィルハーモニー サマーキャンプコンサート	8月13日～16日 蔵王アストリアホテル	動物の謝肉祭／サン＝サーンス 他
	第11回チャペルコンサート	10月14日 二本松市コンサートホール	タランテラ／サン＝サーンス 他
	第32回東京クラリネットフィルハーモニー定期 演奏会	3月30日 津田ホール	ピアノ協奏曲／J.S.バッハ 他
阿 部 優 子	子どもの食生活実態調査（その1） －保育所・幼稚園児の調査より－	日本調理科学会平成25年度 大会（ポスターセッション 奈良女子大学 平成25年8 月）	子どもを取りまく食生活の実態を明らかにすることを目的とし、郡山市内の幼稚園児・小学生を対象に食生活調査を行った。本発表では、保育所及び幼稚園へ通園する年少・年長児の結果について集計・分析し、考察を加えて発表を行った。
石 川 雅 子	台湾産腐乳の諸成分ならびに細菌叢の特徴 （共著）	淑徳大学看護栄養学部紀要 第6号（2014.3）	台湾で製造された腐乳の微生物および遊離アミノ酸組成などについて検討した。
仲 田 佐和子	「平成25年度 博物館実習報告」	『文化学科（資格課程）報 告集』第16集、平成26年3 月	博物館学外実習9施設の報告を考察し、次年度の博物館実習授業を展望した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
齋 藤 理 沙	子どもの食生活実態調査（その1） －保育所・幼稚園児の調査より－	日本調理科学会平成25年度 大会（ポスターセッション 奈良女子大学 平成25年8 月）	子どもを取りまく食生活の実態を明らかにすることを目的とし、郡山市内の幼稚園児・小学生を対象に食生活調査を行った。本発表では、保育所及び幼稚園へ通園する年少・年長児の結果について集計・分析し、考察を加えて発表を行った。
草 野 順 子	「響」	第87回 国展 東京六本木国立新美術館 2013年5月1日～5月13日	F130号 キャンバスに油彩 生命の移ろいゆくさまをみつめる人間の心象表現 を追究した。
	「余韻」	第64回福島県南美術展 郡山市民文化センター 2013年9月20日～9月23日	F100号 キャンバスに油彩 同上テーマ 特選 県南美術賞受賞
	「breath」	第8回西会津国際芸術村公 募展2013 西会津国際芸術村 2013年10月12日～10月17日	S50号 キャンバスに油彩 同上テーマ 一般の部 準大賞受賞
	「漂う時」	第57回郡山市総合美術展 （前期） 郡山市民文化センター 2013年11月4日～11月10日	F100号 キャンバスに油彩 同上テーマ 洋画の部 奨励賞受賞
鈴 木 典 子	チャペルコンサート	2013.10.14	二本松コンサートホール

【社会活動】

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
関 口 修	日本私立短期大学協会	副会長 短期大学教育の振興に関する諸問題
	短期大学振興対策特別委員会	委員長 今後の短期大学の振興方策・進め方等審議
	日本私立短期大学協会東北支部	支部長 日本私立短期大学協会東北支部の振興に関する諸問題
	(助)短期大学基準協会 第三者評価委員会 第三者評価委員会小委員会	理事長 委員 第三者評価に関する検討・評価 委員 第三者評価に関する詳細案作成
	日本私立大学協会	評議員 事業計画・収支予算等に関する検討
	(助)私立大学退職金財団評議員会	評議員 事業計画・収支予算等に関する検討
	文部科学省 大学設置・学校法人審議会 学校法人分科会	委員 高等教育に関する法人の管理運営に関する事項
	全私学総連合会	委員 私立学校に関する諸政策の推進
	(助)私学研修福祉会	理事 事業計画・収支予算案に関する検討
	(医)安積保養園 あさかホスピタル	理事 事業計画・収支予算等に関する検討
	原発被害福島県私立大学・短期大学連合会	顧問 福島第一原発事故による損害賠償に関する調査など

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	文部科学省研究開発局原子力損害賠償紛争審査会 福島県私学団体総連合会	有識者として委嘱を受ける 理事 関係諸団体の私学教育の充実・振興を図るための運営にあたり必要な事項を審理
影山 彌	郡山市情報公開審査会 郡山市個人情報保護審査会 家政学原論部会東北・北海道地区委員	委員 郡山市情報公開制度の運用状況全般や、公文書一部開示決定に係る異議申し立てについて審議し答申をまとめる。 委員 郡山市民の個人情報の保護に関して広く審議する。 当地区大学における家政学原論研究を振興し、家政学の学問的確立を促進する。
石堂 常世	早稲田大学社会安全政策研究所 招聘研究員 日仏教育学会 会長	平成25年度は、6月と12月と3月の研究会議に出席し、少年非行防止・健全育成のための地域諸機関・地域人材の連携・協力の体制について研究報告や実務報告を聞き、質疑応答に参加した。3月には、郡山市の状況について方向をいただくべく、企画準備中 日仏教育学会会長として第3期目に入った2013年度の研究大会を、佐賀県佐賀市にある西九州大学で、11月23-24日に開催した。基調講演、シンポジウムにはフランス国民教育省視学官、François MULLER 氏を招聘し、深刻化している子どもの学業逸脱 Le décrochage scolaire 問題（不登校）について、日仏それぞれの現状分析から問題点や解決ポイントを協議し合った。理事会は23日に、2013年度総会は研究大会終了後の24日に行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市都市計画審議会	平成26年2月18日委員委嘱を受け、第85回郡山市都市計画審議会に出席した。市議会議員、学識経験者、関係行政機関職員、計20名からなる委員構成で、都市と田園地域等の共生を基本理念とする水と緑に囲まれた多様な交流のある活力あるまちづくりのために、マスタープランが説明され、協議を重ねた。
	きたかた大使による産業発信シンポジウム	2月15日、産業振興・地域活性化に関する提案と原発事故による風評被害払拭に向けて、喜多方市蔵の里「イベント蔵」において、きたかた大使を中心的パネラーとしてシンポジウムが開かれ、山口市長をはじめ市民が集い、まちの活性化のための提案と意見交換をした。
	神奈川県地域連携協議会	子どもの非行防止と健全育成のための協議会であり、学識委員となっている。神奈川県と、政令都市横浜市における諸施策の機関報告と意見交換の協議会であり、神奈川県警察署と神奈川県教育委員会と横浜市教育委員会が中心になり、関係諸機関の代表者が集い研究を重ねている。2月24日の今回は、大学生たちによる子ども・若者支援のボランティア活動、横浜子ども会議の企画と効果など、子ども主体の取組によるいじめ防止の運動について報告があり、実りある意見交換が展開した。
武 井 玲 子	郡山市男女共同参画審議会（委員）	男女共同参画プランの企画推進に関する審議会に参画し、意見具申。
	郡山市建築審査会（委員）	建築許可等に関する議案について調査及び審議を行う。区分担当は、公衆衛生分野。
	（一社）日本家政学会色彩・意匠学部会（部会長）	研究者間の共同研究推進、交流を通して、色彩・意匠学の学術研究成果を高め、家政学の発展に寄与する。
小 阪 康 治	日本臨床死生学会理事	学会運営、学術大会運営。
	一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構動物実験委員会委員	倫理担当委員
山 形 敏 明	公益財団法人郡山市観光交流振興公社	評議委員として評議委員会に出席

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	平成25年度郡山女子大学サマーリフレッシュ講師	平成25年度郡山女子大学サマーリフレッシュ（教員免許更新講習）選択領域の講師を務める。2013年8月
	平成25年度郡山女子大学人間生活学科市民講座講師	平成25年度郡山女子大学人間生活学科主催の市民講座の講師を務める。2013年7月
山本裕詞	NPO法人発達支援機関リソースセンター ONE	役員（監事） 発達障害者支援法における発達障害児等の自立支援を目的に、発達相談や治療教育及び講演活動等を行う当該法人において、理事の業務執行状況を監査した。
	平成25年度 郡山女子大学サマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）講師	講義「法令改正及び国の審議会の状況等」 講義「様々な問題に対する組織的対応の必要性」
藤本健四郎	（独）科学技術振興機構 （シーズ発掘試験査読評価委員）	委員（平成24年4月1日～26年3月31日） イノベーション創出を目的とした「シーズ発掘試験」の研究課題の選定ならびに事後評価を行った
	（研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）専門委員）	研究課題の選考に関わる事前評価および研究終了後の事後評価
	日本油化学会関東支部	幹事 支部主催の行事の検討
	日本食品科学工学会	東北支部評議員 支部の運営
	日本食生活学会	理事 学会の運営
	日本ヘモレオロジー学会	理事 学会の運営
	全国栄養士養成施設協会	「東日本大震災後の福島県における栄養士の活動」を投稿した。全栄施協月報第632号（平成25年5月25日）
	あさかの学園大学環境セミナー講師「認知症予防のための食生活について」	環境セミナーの講師を務め、認知症予防のための食生活について講演した（平成25年9月14日）

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
広井 勝	郡山地域テクノポリス推進機構技術審査	委員として郡山地域に存在する企業等で新規研究開発事業を計画する場合、助成に該当するかの審査を行う。
	「食生活研究」編集委員会	編集委員として雑誌の編集に関与。
	きのこサイエンス講座（緑化センター）	講師として、食毒きのこの見分け方、きのこ放射能、きのこの生態などについて解説。
	市民フォーラムの開催「超高齢化社会における健康問題」	郡山女子大学主催のフォーラムの世話人ならびに総合討論の司会をつとめる（2014.3）
	第57回農業実験実習講習会ならびに教員免許状更新講習会（講師）	「食生活ときのこ」「油脂の脂肪酸分析ならびに油脂劣化度の測定」担当（本学）（2013.8）
レア植物の栽培と流通、6次産業化の展開（講師）	富山県農林振興センターの依頼で「エゴマが秘める機能性 - 6次産業化の取り組みと展望について講演（2013.10）	
諸岡 信久	アカデミアコンソーシアムふくしま	アカデミアコンソーシアムふくしま事業推進会議委員
	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2013出展	郡山開成学園環境委員会活動の一環として、学園の太陽光発電設置状況と節電への取り組みについて発表
	第57回農業実験実習講習会（東北地区・食品化学）免許状更新 講師	食品の放射性物質の分析に関する講義・実習の実施
	日本農芸化学会 参与	学会と大会の運営、学会賞等の選定
	父母の講座「福島・郡山と放射線（この地域の身近な調査から）」について	郡山女子大学附属幼稚園の保護者を対象に、この地域の放射線の問題と疑問点についての講座
紺野 信弘	郡山市あさかの学園大学	講師・「生涯学習講座」
藤原 建樹	てんかん治療研究振興財団	評議員並びに研究助成選考委員長
	郡山市災害弔慰金支給審査委員会	委員長

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
深谷 笑子	福島県文化振興審議会	委員 福島県文化振興基本計画の見直しと、文化振興計画の進行管理について検討を行った。
	平成25年度 郡山女子大学サマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）	講師 講義「家庭の本質的領域」
	竹田看護専門学校	非常勤講師 「生活論」担当
茂木 光代	第26回介護福祉士国家試験実地試験委員	第26回介護福祉士国家試験（実技試験）試験委員
	日本介護福祉士養成施設協会 東北ブロック教員研修会 実行委員	日本介護福祉士養成施設協会 東北ブロック教員研修会の実行委員として企画・運営（2013年8月）
	市民講座	郡山女子大学人間生活学科主催 市民講座講師として「認知症の理解」をテーマに講演を行った。
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
難波 めぐみ	郡山市技能功労者選考委員会	委員 郡山市の産業発展に貢献した卓越技能者の選定及び表彰。9、10月開催
	人間生活学科主催「市民講座」	講師 暮らしの1ページのテーマのもと「生活のなかの色－平安の色、今の色－」を担当
	郡山市桃見台地域公民館	青少年対象事業トライキッズスクール事業企画及び運営サポート。 7、12月開催
	郡山市桃見台地域公民館主催事業 講座担当	講師 桃見学級「古典に親しむ－平安文学に見る服装－」の講座で、古典文学から平安時代の色について紹介した。
	KGCサマーリフレッシュプログラム	講師「衣生活と造形－快適な衣生活を過ごすための工夫－」

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山女子大学主催「科研費事業」	講師「2012年基盤研究Cの評価から2013年基盤研究C獲得まで」
熊 田 伸 子	郡山市介護保険運営協議会	委員・郡山市介護保険の運営協議、郡山市介護保険事業計画協議
	郡山市地域密着型サービス等運営委員会	委員・郡山市地域密着型サービスの運営協議
	郡山市地方社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会	委員・高齢者福祉に関する事項について審議
	KGCサマーリフレッシュプログラム 本宮市地域連携事業	講師「高齢者と福祉サービス」 本宮市高齢者いきいき交流事業企画・運営の協力
佐 藤 典 子	愛知サマーセミナー	特別講演講師 テーマ「N.SATOの生活科学実験～糖度測定～」
	東京都・市町村共催講座	講師 テーマ 自由研究にもびったり！「食べ物の糖度を調べてみよう」 低学年向け、高学年向けに開催した。
	東京都小学生親子を対象にした講座	講師 テーマ「震災と消費生活 ～お鍋でご飯を炊いてみよう～」
	愛知県私立学校教員研修会	講師 テーマ 多様化する私学教育を目指して 生活科学実験講座「清涼飲料水を科学する」
	東京都青梅市市民講座	講師 テーマ 「震災と消費生活 ～お鍋でご飯を炊いてみよう～」
橋 爪 敏	郡山市史専門委員会委員	郡山市史の社会部会の一員として執筆および執筆依頼等を行う。
楯 野 信 子	県南調理師会 平成25年度調理師試験予備講習会	講師として、調理師試験対策のための、「調理理論」、「食文化概論」、「栄養学」の予備講習を行った。
	第2回ふくしま終活フェアin郡山	明るく年を重ね、楽しく過ごしていくための「生活の質の向上」の提案として、お酒と料理の組合せを主眼とした「いつまでも健康でおいしく」のテーマで、福島放送アナウンサー笠置わか菜氏と、トークショーの形式で講演を行った。
	福島県農業総合センター農業短期大学校	非常勤講師として、「農畜産物加工」を担当した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	放送大学福島学習センター面接授業	非常勤講師として「節度ある飲酒の楽しみ方」を担当し、新ジャンルの酒類の技法や歴史的・社会的背景を踏まえながら、実践的かつ健康的で快適な飲酒の楽しみ方を提案した。
	アサヒビール園とのコラボ企画第2弾	アサヒビール園福島本宮店にて提供する秋冬メニューとして、女子学生が考案した福島県産品を使用した新メニューについて、共同開発に携わった。
	福島県農業総合センター農業短期大学校運営会議	委員として、本大学校が、適切かつ円滑に運営されるよう、その教育・研究等の基本的事項について協議した。
	青森県弘前市民グループ「弘前スカーフクラブ・遥」の「サイエンスキッチン」勉強会	講師として、一般社団法人日本原子力産業協会（JAIF）の地域ネットワークメンバーを対象に、「食品と放射能について考えてみませんか」というテーマで、「照射食品」との関連から講演を行った。
	日本伝統食品研究会	幹事として、会の運営に携わった。
菊 池 節 子	子どもの遊びと運動に関する検討会	郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催の検討会において、子どもの遊びと運動、食事の実態把握のための調査ならびに対応策の検討に携わっている。
	浅川町主催 男性のための健康講座	講師 中高年男性を対象に、「生活習慣と高血圧予防について」、「肥満予防・バランスのとれた食事について」の二回にわたって講話ならびに簡単な調理の紹介を行い、健康の基本である食生活の見直しと受講生の自己啓発を図った。
	平田村主催 レディースセミナー	講師 レディースセミナー学級生を対象に、「簡単おせち料理」の紹介を行い、ユネスコ無形食文化遺産に登録された「和食：日本人の伝統的な食文化」の再認識と手作り意識の向上を図った。
	須賀川市長沼公民館	ながぬま文化まつりにおいて、第6次化産業の取り組みの実例紹介ならびに試食会を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	学校法人石川高等学校ガイダンス	1・2年生の食物・栄養系志望生徒を対象に、「高校生の望ましい食生活について」の模擬授業を実施した。
	日本家政学会 食文化研究部会	東北・北海道地区委員として会の運営に携わっている。
	公益社団法人 福島県栄養士会	理事として会の運営に携わっている。
石 田 智 宏	日本タッチアンドフラッグフットボール協会 福島県立郡山東高等学校	理事長 学校評議員
安 田 純 子	国際女性の地位協会 編集委員 オーストラリア学会 理事	『国際女性』（尚学社発行）に携わった。 学会の運営とオーストラリア大使館ならびに豪日交流基金関連行事に携わった。また、編集委員として「オーストラリア研究」第27号の編集に携わった。
	日本観光学会 北海道・東北支部会 評議委員	学会の実施等に携わった。
関 口 晋	日本私立短期大学協会 運営問題委員会 教員免許更新講習会（本学主催）	私立短期大学の管理運営や教育制度等に関する研究 講義「食生活習慣と体のしくみ」
笹 田 琴 美	福島県立医科大学ハラスメント対策委員会 エフパネットふくしま（福島虐待問題研究会） 平成25年度太田福祉記念会 法人職員研修 特別講演会「虐待 ふくしまは今」	委員 ハラスメントの調査確認およびその対応についての審議、ハラスメント防止に関する審議、規約改正等の審議等。 理事 福島県を中心に、虐待問題に関する広報活動や研究活動、相談業務などを行う団体で、運営の支援や相談技能の指導・訓練を行っている。 講師 特別養護老人ホームの職員を対象に、虐待についての講演を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市男女共同参画学習サポート事業 さんかく教室「DV・虐待の被害者支援」	講師 特別養護老人ホーム（笑風会）の職員を対象に、DVや虐待の被害者支援について講演を行った。
	NPO法人キャスナ・神奈川女性センター共催 講演会「ハラスメントが及ぼす影響」	講師 神奈川県男女共同参画リーダー養成する連続講座の中で、ハラスメントが及ぼす心理的影響に関する講演を担当した。
	よりそいホットライン相談員研修会	被災地3県に設置された相談電話の対応にあたる相談員（主に福島県と山形県）を対象に、連続講座を継続中である。相談技術の訓練や事例のスーパービジョンなどを行っている。
渡 邊 英 勝	郡山市史 続編4	「低所得者支援」「社会福祉施設」執筆
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業企画・運営の協力
	富士宮市地域福祉フロンティア計画評価委員会アドバイザー	富士宮市社会福祉協議会策定の地域福祉活動計画の評価を行う
	富士宮市社会福祉協議会ふくしのまちづくりサポーター養成研修会講師	地区社会福祉協議会の活動をサポートするボランティアの養成研修
	富士宮市社会福祉協議会ふくしのまちづくりサポーターフォローアップ研修会講師	ふくしのまちづくりサポーターのステップアップ講座
	富士宮市地域福祉推進セミナー講師	富士宮市・市社協の共催事業、地域福祉活動の充実・発展に繋げていく
泉 秀 生	子どもの遊びと運動に関する検討会	郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催の検討会において、子どもの遊びと運動、食事の実態把握のための調査ならびに対応策の検討に携わっている。
	日本食育学会議	食育研修委員会 委員長 早稲田大学にて開催された第一回食育セミナーの企画・運営した。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	日本幼児体育学会	理事 学会の運営や学会大会の企画・運営に携わっている。
阿部 恵利子	日本木材学会環境委員会	委員 木材の加工、流通、利用における環境影響、事業性、地域への経済波及効果などの評価手法に関して、今後、取り組むべき課題を検討した。
	福島県立光南高等学校	家庭科系列進路講演会 講師「住居と職業」
廣野 正子	福島県社会福祉協議会	講師 平成25年度介護福祉士受験筆記対策講習会模擬試験の解説。
	本宮市地域連合事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力。
	(社) 老後を幸せにする会	東京都世田谷区玉川区民会館ホールで開催の「老後Happyフェスティバル」の運営協力
影山 志保	(独) 国立環境研究所環境リスク研究センター 客員研究員	国内大気汚染状況について、遺伝毒性の視点からのリスク評価を担当
	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2013出展	郡山開成学園環境委員会活動の一環として、学園の太陽光発電設置状況と節電への取り組みについて発表
	第57回農業実験実習講習会（東北地区・食品化学） 免許状更新 講師	食品の放射性物質の分析に関する講義・実習の実施
先崎 和子	小野町母子推進員	委員 母性及び乳児の育児教室の案内や出産後の訪問を実施し、母子の健康増を図る。
	更生保護女性会	会員 地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力する。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	ふるさと暮らし支援センター	会員 交流人口及び定住人口の拡大を図るため、移住希望者へPR活動や移住者への支援のほか、田舎料理づくり等の移住体験・交流を行う。
	平成25年度郡山女子大学サマーリフレッシュ	講師 平成25年度郡山女子大学サマーリフレッシュ（教員免許更新講習）選択領域野の講師を務める。（平成25年8月）
	第64回福島女性大会	講師 福島県婦人団体連合会主催の女性大会で「健康・食の安全・放射線との関連」について講演（平成25年9月）
	福島県レクリエーション協会	講師 ニューエルダー元気塾の参加者（二本松の安達体育館にて避難生活を送っている人が対象）に元気を創る食のあり方について講演した。（平成25年11月）
	郡山市開成公民館主催	講師 地域ふれあい講座「来て！見て！開成！」事業 「バランスのとれた食事について」と題して講話（平成25年12月）
	平田村女性団体連絡協議会研修会	講師 「健康・食品の安全性について」と題して講話（平成25年12月）
	福島県栄養士会	監事 栄養士会の会計監査に携わる。
亀 田 明 美	福島県郡山市学校給食会運営委員会	委員：郡山市中学校給食会規約に基づき中学校給食会運営委員会が設置されている。年2回開催される運営委員会に出席し、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	<p>沖縄県教育委員会主催 平成25年度栄養教諭・学校栄養職員等研修会</p>	<p>講師「学校給食における食事摂取基準の活用について」：沖縄県教育委員会主催の栄養教諭、学校栄養職員を対象とした研修会において、学校給食に食事摂取基準の考え方を導入するにあたっての具体的な方法や留意すべき事項について講演した。</p>
	<p>福島県学校保健会郡山支部主催 平成25年度学校保健講習会</p>	<p>講師「児童生徒のよりよい食習慣の形成を図るために」：郡山市内公立小中学校の保健主事を対象に、学校保健統計調査の結果を基に、福島県の児童生徒が抱える健康課題を確認するとともに、個々の児童生徒の実態に基づいた給食指導や食に関する指導の重要性について講演した。</p>
	<p>茨城県学校栄養士協議会主催 平成25年度栄養教諭・学校栄養職員等研修会</p>	<p>講師「学校給食における食事摂取基準の活用について」：茨城県学校栄養士協議会主催の栄養教諭、学校栄養職員を対象とした研修会において、学校給食に食事摂取基準の考え方を導入するにあたっての具体的な方法や留意すべき事項について講演した。</p>
	<p>福島県西白河地区小学校教育研究会生活・総合科研究部会主催：秋の研究協議会</p>	<p>講師「学校における食育の推進」：西白河地区小学校教育研究会生活・総合科研究部会に所属する教員を対象に、小学校において栄養教諭等と連携を図りながら、食育を推進するための具体的な方法について講演を行った。</p>
	<p>福島県西白河郡西郷村立米小学校主催：学校保健委員会</p>	<p>講師「望ましいおやつを選択」：西郷村立米小学校の学校保健委員会において、小学校5・6年生及び保護者を対象に、市販されているおやつを表示の見方や、望ましいおやつを選択についての講演を行った。</p>
	<p>福島県学校給食研究会石川支部主催：学校給食研究協議会</p>	<p>講師「教科・特別活動における食育の推進」：福島県学校給食研究会石川支部に所属する学校栄養職員を対象に、教科・特別活動において、教員とティームティーチングによる食に関する指導を行う際の留意点について、講演を行った。</p>
	<p>郡山料飲健康グループ主催：オリジナル料理レシピコンテスト</p>	<p>審査員：郡山料飲健康グループが郡山の名物料理の開発・普及を目指して行った、「郡山の名物料理を作ろう！オリジナル料理レシピコンテスト2013」において、最終審査に残ったオリジナル料理の審査を行った。</p>

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県西郷村食育推進事業：児童生徒対象料理コンクール	審査員：西郷村食育推進事業の一環として行われている、児童生徒対象料理コンクールにおいて、16名の児童生徒が作った料理の審査を行った。
佐 藤 浩 明	もみじ会、 郡山バレーボール協会	中学、ママさんでも簡単に練習できるバレーボール教室 中学3年生を対象としたバレーボール教室
石 村 由美子	郡山市食育推進協議会委員 副会長	平成20年に市民の「食」についての意識を高めるため、家庭・地域・学校・行政との連携を図りながら、郡山市の特性を活かした食育推進計画が策定された。これを受けて現状の取り組みと実施状況について、各専門分野から選任された委員を招集して、継続して協議を行い、「第二次郡山市食育推進計画」として冊子を作成した。
	郡山市水道事業経営審議会委員	郡山市水道局の命を受けて、郡山市水道事業に関わる様々な事項（水道事業経営の基盤、事業計画、財政計画等）について審議し、より良い水道事業経営の実施に向けて意見を述べ、郡山市に答申した。
	郡山市総合地方卸売市場運営協議会委員	郡山市総合卸売市場の運営に関する諸事項である、条例の改正や開場期日ならびにその内容等について、協議を行い、適切な運営のための意見を述べている。
	アカデミアコンソーシアムふくしま理事	アカデミアコンソーシアムふくしまに加盟する県内の16大学・短大が取り組んでいる「大学間連携共同教育推進事業」に係る連絡・協議会運営に参加。
田 辺 真 弓	福島県文化財保護審議会	審議委員・福島県から諮問された福島県指定重要有形・無形文化財候補について、調査報告に基づいて審議を行った。
	公益信託柵木宇巳子記念奨学育英基金運営委員会	運営委員長・公益信託奨学育英基金の運営について、郡山市教育委員会 の案に基づいて協議し、受給対象者を選定した。
	日本家政学会服飾史・服飾美学部会	役員・部会の運営について協議するとともに、部会報発行準備に携わった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
三 瓶 令 子	①全国大学音楽教育学会	理事 学会運営と諸議題についての検討
	②全国大学音楽教育学会・東北地区学会	会長 東北支部の運営と、全国学会からの諸問題についての検討
	③社団法人全国保育士養成協議会 保育士実技試験	保育士試験 実技試験採点委員 2013,10,20実施 国家試験資格としての保育士試験において、実技試験の試験管として採点を行った。
富士盛 公 年	福島県保育協議会県南支部主任保育士研修会講師	平成25年10月2日「子どもを取り巻く環境の変化と望ましい保育のあり方」講演
	放送大学福島学習センター面接授業	平成25年12月21,22日「学校教育相談の実際」講義
上野(一柳)智子	民族藝術学会 理事	民族藝術学会の年3回の定例研究会の企画運営を行った。
	民族藝術学会第29回大会実行委員長	平成25年4月27,28日(於:郡山女子大学)開催された第29回大会を大会実行委員長として企画運営を行った。
	比較舞踊学会 理事	比較舞踊学会第24回大会の企画運営を行った。
	舞踊学会 指名理事	舞踊学会第67回福島大会に向けて企画立案中。
	福島県民俗芸能継承状況アンケート調査業務事務局代表	厚生労働省雇用創出の基金を福島県が受け、その一部として「福島県民俗芸能継承状況アンケート調査業務」を立ち上げたことに伴い、当該業務の委託を受けた。代表として事務局を管理運営した。
村 田 清	福島県運営適正化委員会	福島県の福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保し、福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適正に解決するために、福島県社会福祉協議会に設けられた委員会の委員長として、会の運営に携わった。また、福祉事業所職員を対象とした、福祉サービスにおける苦情解決研修会の講師として活動した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市地域包括支援センター運営協議会	高齢者の心身の健康の維持や、生活の安定のために必要な相談や支援を包括的に行う中核機関である、郡山市の17カ所の地域包括支援センターについて、適切、公正かつ中立的な運営を確保するための協議会の会長として職務に従事した。
	社会福祉法人 白河学園	理事として、理事会・評議員会等に出席し、児童養護施設白河学園及び障がい児は発達支援事業所つぼみ園の運営に関わるとともに、職員研修を担当した。また、県内児童養護施設の家庭支援専門相談員及び個別対応職員の研修会で講師を務めた。
	日本ジェントルティーチング研究会	研究会の福島県支部長として活動するとともに、山形で開催されたオランダや日本ジェントルティーチング研究会の講師による福祉関係者の研修会で司会進行を務めた。
	福島県社会福祉士会子ども家庭支援委員会	福島県の児童福祉に関わるソーシャルワーカーの研修や情報交換に委員として関わった。
	西郷村水道審議会	西郷村の水道事業に関する審議会の会長として、水道事業に関する審議を行った。
	財団法人 立教志塾	白河市における生涯教育の民間組織である団体の評議員として、町づくりや人づくりを目的とした事業に参加した。
	福島虐待問題研究会	児童、高齢者、障がい者等の虐待問題に関する民間団体の監事としてその事業の監査を行った。
久 家 三 夫	平成25年度世界ベンチ・イス創作コンテスト実行委員会	実行委員として同コンテストの運営に協力した。
	ふるさと福島伝承文化再発見事業実行委員会	第8回ふるさと福島伝承文化再発見事業 福島市・飯野町合併5周年記念演劇「小手姫が伝えた飯野の絹織物」小山田満月氏演出のポスターを制作。平成25年8月4日福島テルサ公演

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	美里ペンクラブ	同人誌「高田文学 第45号」表紙絵の提供 平成26年2月10日発行
浅野 章	福島県美術家連盟	会員 福島県の美術普及活動。
	国画会	絵画部会員 出品作品の審査・講評、及び運営業務。
	福島民報特別通信員	美術関係の情報・話題を中心として福島民報新聞社に記事を提供。
	国画会絵画部チャリティー事業	東京六本木国立新美術館に於いて、第86回・国展絵画部でのチャリティー展に出品協力。小品を展示販売し売上金全額をNHK事業局へ寄付。
	放送大学福島学習センター	面接授業非常勤講師「好きな絵をハートで描く2」
	郡山市総合美術展審査員	洋画の部、作品審査。
	一葉会・絵画研修会	絵画についての基調講演、作品講評。
	絵画寄贈	社会貢献の一環として大型絵画作品「薔薇色の時、夢と希望」を公共施設（郡山市民文化センター）に寄贈。 ●FCT福島中央テレビで作品解説
岡部 富士夫	日本作曲家協議会	会員 作品発表
	JFC東北	会員 作品発表
	声楽アンサンブル全国大会	実行委員
	NHK文化センター	講師
	あさかの学園大学	講師
	アマデウス室内管弦楽団	常任指揮者

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市民オーケストラ	ミュージックアドバイザー
	郡山吹奏楽団	客演指揮者
	合唱団「風」	常任指揮者
	郡山女声合唱団	常任指揮者
	福島オペラ協会	理事
深 谷 登喜子	須賀川市文化センター運営委員会	副委員長 文化センターの運営についての諮問機関
	須賀川音楽協会	会長 須賀川地域の音楽文化向上を図るための団体
	郡山女声合唱団	専属ピアニスト
野 沢 謙 治	福島県立博物館収集展示委員会	副委員長 博物館が収集する資料、企画展についての審議
	郡山市文学資料等収集評価選定委員会	文学資料館が収集する資料の評価について審議
	郡山市行財政改革推進委員会	行政改革に対する提言
	郡山市市史編纂委員会	市史編纂の大綱の審議
	郡山市市史編纂専門委員会	市史の内容、執筆についての審議
	須賀川市文化財保護審議会	文化財の指定についての審議
	郡山市あさかの学園	講師
	NHK文化センター	講師
	日本風俗史学会	理事 東北・北海道支部長
齋 藤 美保子	福島県文化振興事業団評議委員会	評議委員として、事業団の25年度の運営全般について評議した。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	郡山市美術品選定委員会	平成25年度美術品収集評価選定委員会において、購入する美術品（明治期の洋画、工芸品）を審議した。
	民族藝術学会	第29回民族藝術学会大会（2013年4月27日・28日 郡山女子大学）において、実行委員として大会を運営した。
太宰待子	国画会工芸部チャリティー事業 (2013.5.1 - 5.18)	国立新美術館（東京六本木）に於いて第87回国展工芸部チャリティー展に出品協力。小品を展示販売し、諸経費を除く売上金全額を自然保護協会及びNHK厚生文化事業団に寄付した。
	「新聞バック制作」ワークショップ (2013.11.29)	郡山市針生地区明るいまちづくり実行委員会主催・中央公民館針生分館集会所に於いて、エコ活動の一環として新聞紙でエコバックの制作を近隣の方々30名で行った。
奥秋和夫	郡山市国民健康保険運営協議会	会長 年4回の会合と研修会に出席、国保の運営に関する事項を審議
知野愛	郡山看護専門学校看護学科	講師 家族社会学の授業を担当した。
	テレビユー福島番組審議会	委員 放送番組の向上を目的として課題番組について審議した。
	郡山女子大学サマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習)	講師 「少子社会と家族」
會田久仁子	郡山市下水道等事業運営審議会委員	本市下水道事業の適正かつ効果的な運営のための意見を求めたいとする諮問書を受け、「下水道使用料および農業集落排水施設使用料」および「下水道事業受益者負担金」について昨年度より引き続き6回にわたり審議を重ね審議会としての答申書を11月に市に答申した。
水野時子	福島県栄養改善学会運営委員	運営委員として学会開催の企画運営に携わった。
	郡山市震災後子どものケアプロジェクトチーム実務者会議委員	実務者会議委員としてプロジェクトに携わっている。
	放送大学福島学習センター面接授業	非常勤講師（面接授業担当）として「食習慣と健康」を担当した。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
早川 仁	県南美術協会	展覧会作品審査・運営等
	平成25年度サマーリフレッシュプログラム	講師 選択領域「創作イメージと描画表現力を育む」
滝田 良子	福島県総合計画審議会	総合計画に関する事項について審議。
	福島県社会福祉審議会	社会福祉に関する事項について審議。
	福島県児童福祉専門委員会	副委員長として児童福祉に関する事項について審議。
	福島県保育協議会	理事・評議委員として保育部門に関する事項について審議。(学識者)
	福島県保育者養成校連絡研究部会	研究部会委員
	福島県教育庁	子どもをはぐくむための地域実践プロジェクトアドバイザー。(学識者)
	福島県福祉施設士会	事務局監事。
	福島虐待問題研究会	事務局長として虐待に関する調査研究、会の運営に携わっている。
	郡山市総合計画審議会	審議委員。
	郡山市地方社会福祉審議委員	副委員長として福祉行政に関する事項について審議。
	郡山市要保護児童対策地域協議会	専門委員。
	郡山市震災後子どものケアプロジェクト代表者会議	専門委員。
	郡山市子ども・子育て会審議委員会	会長として子育て行政に関する事項について審議。
郡山市文化功労賞審査会	審議委員。	
FOURWINDS乳幼児精神保健学会平成26年度学会 実行委員	大会実行委員。	
小林 徹	郡山市心身障害児就学指導委員会 委員	郡山市立小中学校に在学する児童生徒で心身に障がいをもつものの教育的措置について審議し、適正な就学についての指導を行う。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	三春町指定管理者選定検討会 委員（会長）	効果的・効率的な保育所運営を目指し、保育サービスの向上を図るため、三春町第1保育所への指定管理者制度の導入に関する検討を行う。
	西多摩中学校教育研究会特別支援教育研究部授業研究（日の出町立平井中学校）	6月14日、「基礎学力の定着と共にコミュニケーションの力を培う指導－数学・平方根」の指導助言及び講演
	西東京市教育委員会夏季研修会	8月2日、講演「知的障害学級の授業づくり」
	多摩地区特別支援教育研究会夏季研修会	8月20日、特別支援学級担任の授業実践レポート4本に関する指導助言
	大島出張所管内特別支援教育研修	8月22日、固定学級分科会において学級運営に関する講演と懇談
	新潟県教職員組合新潟市支部教研集会 障がい児教育分科会	9月14日、講演「子どもの思いに寄り添った授業づくり」
	板橋区教育委員会特別支援学級（情緒）研修会（板橋区立板橋第三中学校）	10月29日、研究授業（自立活動）の指導助言と講演「子どもの思いに寄り添った授業づくり」
	福島県立須賀川養護学校校内研究会	10月31日、研究授業（小・高）の指導助言と講演「ひととひとをつなぐ授業の充実をめざして」
	児童デイサービスさくら職員研修会	11月19日、演習型研修会「障がい児保育Q&A」
	筑波大学公開講座「特別な教育的ニーズのある子どもの学習支援」	12月15日、講演「ことばの指導」
	第一回県中地区特別支援学校合同セミナー（郡山市ミューカルがくと館）	12月26日、講演「特別な支援を必要とする子を地域で支えるために、今できることを考える～9月1日付 学校教育法施行令の一部改正を受けて～」
	福島県立大笹生養護学校校内研修会	1月20日、講演「高等部において心理的対応を必要とする生徒の思春期における二次障害について」
	府中市立府中第四小学校校内研修会	1月22日、研究授業「にじいろのさかな」の指導助言

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	新潟県教職員組合新潟市支部障害児学校部会	2月15日、講演「子どもの思いに寄り添った授業づくり」
横溝聡子	第23回東北青少年ピアノコンクール山形地区大会	審査員
	第4回福島県合唱フェスティバル	講師 NHK全国学校音楽コンクール課題曲の伴奏指導
	第23回日本クラシック音楽コンクール福島本選 ピアノ部門 小学校～一般の部	審査員
	全日本合唱コンクール全国大会出場団体壮行演奏会	実行委員
桑野聡	郡山市図書館協議会	議長・委員として郡山市内の図書館運営を協議し、市民の読書環境整備を支援している。
	福島放送番組審議会	審議委員として福島放送（KFB）自社制作番組を合評し、番組の質的向上を支援している。
阿部俊夫	福島県文化財保護審議会	委員 福島県指定重要文化財候補の歴史資料4件について、指定の可否を回答した。
	伊達市保原歴史文化資料館運営委員会	運営委員 資料館運営に関する指導と助言
山口猛	サマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）	8月2日(金)「家庭生活と情報」講師
小林澄枝	福島県立総合衛生学院・看護学科	栄養学非常勤講師 1年生90分15コマ
	うめつLS内科クリニック	栄養カウンセラー 毎月2回
	郡山女子大学附属幼稚園 父母の講座 11月7日実施	「おいしいおやつ&お弁当のワンポイント～いつものメニューに一工夫」講演と調理実習

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	FTV福島テレビ取材 H26.1.17	「センター試験前日と当日の食事について」
鈴木 祥子	福島県保育者養成連絡会研究部会	研究部会委員 福島県内の保育者養成実習担当で、実習が円滑に運営されるよう研究に携わる。
山上 裕子	放送大学 郡山看護専門学校 竹田看護専門学校	「教材にみる学びのかたち」講義 「教育学」講義 「人間と教育」講義
京 免 徹 雄	日仏教育学会 日本特別活動学会 早稲田大学教育総合研究所 福島県保育者養成校連絡会 全国保育士養成協議会東北ブロック研究委員会 やまつり子ども園建設、開園準備委員会 矢祭町小学校統合等検討委員会 日本キャリア教育学会IAEVG日本大会開催準備委員会	事務局幹事 理事、事務局幹事、紀要編集委員、紀要編集委員会幹事 特別研究員／企画研究「コミュニティスクールを活かしたガイダンスの機能の研究－上越市コミュニティスクールにおけるキャリア教育、生徒指導の展開を通して－ 研究部会委員 研究委員 委員（学識者） 委員（学識者） 準備委員
折 笠 国 康	日本教育カウンセリング学会研究委員会	体罰問題を考える－脱・管理型への挑戦－ 早稲田大学早稲田キャンパス 2013.5.19

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	いなべ市教育研究所	児童・生徒指導 Q-UとSTEP的アプローチの導入 いなべ市立石榑小学校 石榑ホール 2013.8.5
	山形県立上山高等養護学校	民主的アプローチによる学級経営、生徒指導の意義 山形県立上山高等養護学校 2013.8.20
	由布市教育委員会	生徒指導 Q-UとSTEP的アプローチの導入 由布市はさま未来館 大ホール 2013.8.28
	日本学校心理士会 大分県支部	STEP勇気づけを活用した中学校の生徒指導の実践 大分大学付属総合教育実践センター 2013.8.28
	特定非営利活動法人 パパジャングル	生徒指導 Q-UとSTEP的アプローチの導入 福井県生活学習館 多目的ホール 2013.9.16
	尾花沢市立尾花沢小学校	生徒指導 Q-UとSTEP的アプローチの理論 尾花沢市立尾花沢小学校 2013.11.29
	舟形町立舟形小学校	Q-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）に係る校内研修 舟形町立舟形小学校 2013.12.13
永 瀬 悦 子	ポラリス保健看護学院	非常勤講師 地域母子看護活動論の科目を担当した。
	御木沢小学校	講師 思春期保健授業
	三春中学校	講師 健康講話
	三春小学校	講師 思春期保健授業
	日本大学工学部工学研究所主催 市民公開第3回ロ ハス工学シンポジウム「PEP Kidsのための夢の遊 び場の実現を目指して」	話題提供者及びシンポジストとして登壇。 「命を育む教育環境の視点から考える夢の遊び場」というテーマで発 表・意見を述べた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
黒 沼 令	岩手県高等学校文化連盟	トロフィ（功労賞、連盟賞）楯（連盟賞、テーマ賞、ポスター賞）の原型制作
磯 部 哲 夫	全日本音楽教育研究会	神戸市における全国大会大学部会において、教員養成をめぐる諸課題を協議。
	会津演奏家連盟	企画委員 平成24年度は4回の企画委員会が開催され、「音楽の森コンサート」の企画を検討。
	郡山女声合唱団	ヴォイストレーナー 合唱コンクール、コンサートに向けてのヴォイストレーニングを行う。
	郡山市立郡山第一中学校	講師 合唱コンクールに向けての合唱部の部活動指導。
	平成25年度KGCサマーリフレッシュプログラム （教員免許状更新講習）	講師 「音楽科指導法」「歌唱法」の講座を担当。
	福島県声楽協会	会員 福島県内において声楽コンサートを開催。
	高声会	会員
鈴 木 奈津子	福島県栄養士会 研究教育協議会	会計監事 協議会主催の研修会運営や役員会へ出席し、平成26年度の事業計画について協議した。
石 川 雅 子	郡山女子大学附属幼稚園マミークラブ	講師 「親子でプチクッキング」（2013.12.5）
	福島テレビ（FTV）	「ハロウィンをテーマにしたユニークなお寿司づくり」取材協力 （2013.10.19放送）

